

令和8年10月26日

那賀川河川事務所

那賀川流域の豊かな自然をみんなに伝えるロゴマークと キャッチコピーの募集結果について ～那賀川流域の豊かな自然を活かした地域活性化を目指して～

河川とその流域の地域が一体となり、多様な生物の生息・生息環境を保全・再生するとともに自然環境を生かした地域活性化を実現するため、全国各地で河川を基軸とした「生態系ネットワーク形成」の取組が進められています。

那賀川流域でも多様な主体との連携のもと、「生態系ネットワーク」の形成に向けて、「那賀川流域地域ワーキング」を設置しています。

このワーキングにおける個々の取組を一体感をもって進めるとともに、取組全体のコンセプト（考え方、方向性）を多くの方に周知・共有することを目的として、取組のシンボルとなるロゴマークとキャッチコピーを募集していましたが、今回、募集結果についてお知らせします。

全国より大変多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

なお、優秀賞（ロゴマーク1点、キャッチコピー1点）については、来年1月に予定している「那賀川流域地域ワーキング検討会」において、選定することとしています。

【参考】

1. 募集期間：令和8年7月21日（火）～9月28日（月）
2. 応募件数：ロゴマーク 173名から計233点
キャッチコピー 186名から計370点

※優秀賞の選定結果については、改めてお知らせします。

本施策は、四国広域地方計画「2.2 サステナブル四国プロジェクト」の取組に該当します。

－問い合わせ先－

国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所

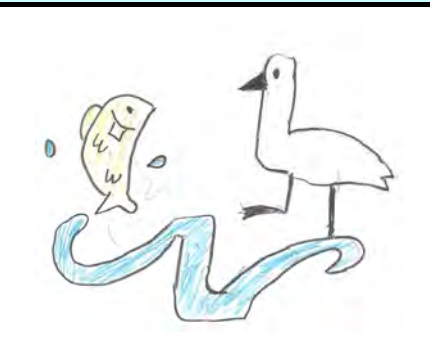
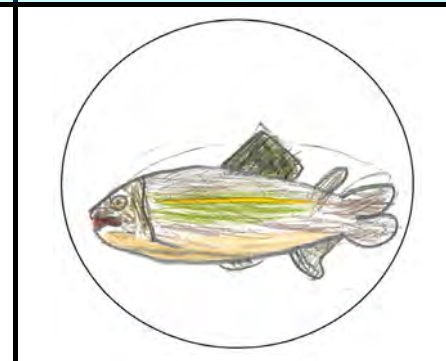
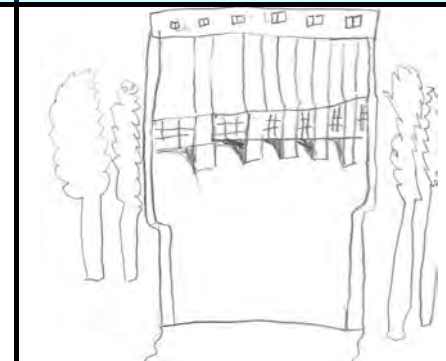
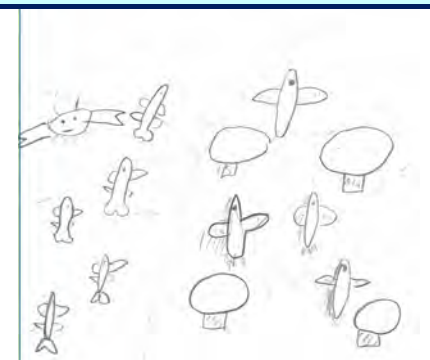
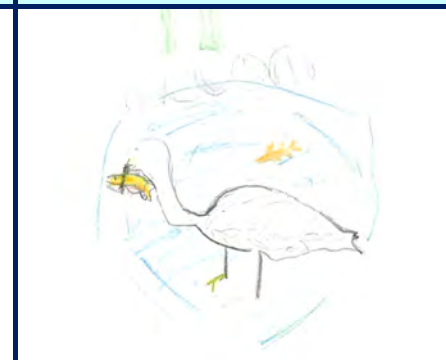
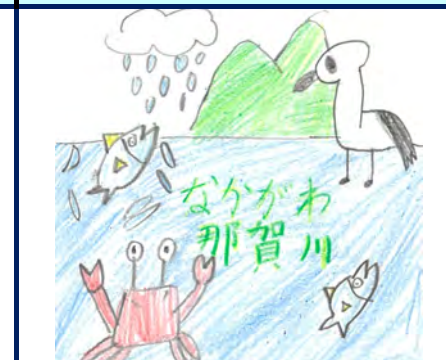
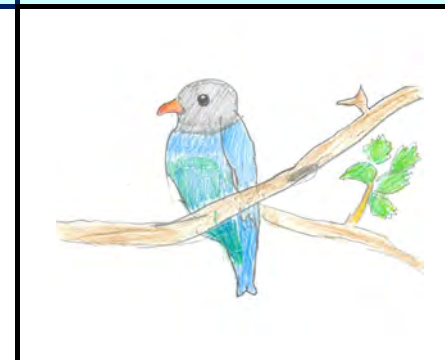
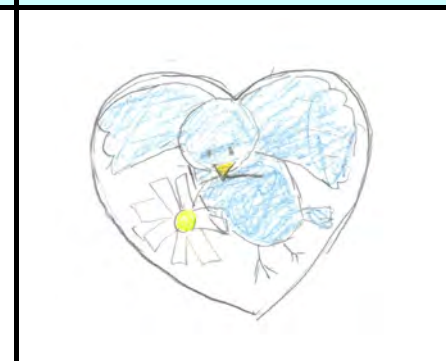
副所長（河川）	みなみもと 南本	ひでゆき 秀行	内線（204）
事業対策官	ふじもと ◎藤本	まさのぶ 雅信	内線（208）
工務課長	よしもと 吉本	やすたか 康孝	内線（311）

電話（0884）22－6461（代）※◎：主たる問い合わせ先

那賀川流域地域ワーキング ログマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

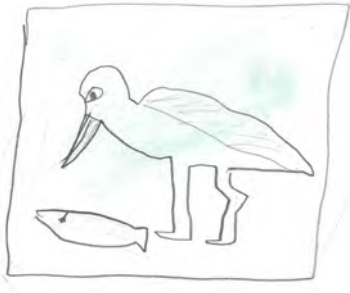
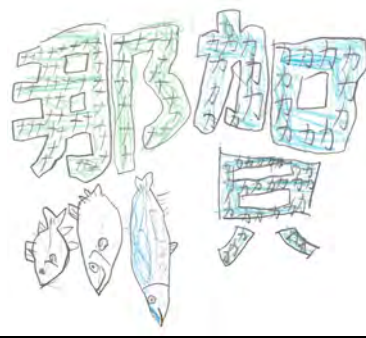
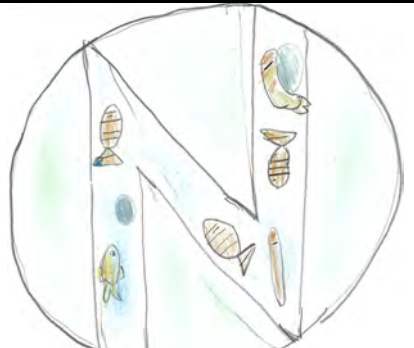
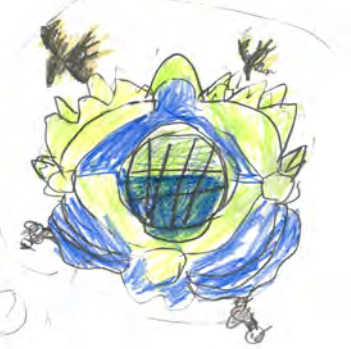
[実施主体] 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-1  (空欄)	A-2  (空欄)	A-3  (空欄)	A-4  (空欄)	A-5  (空欄)	A-6  (空欄)
A-7  (空欄)	A-8  (空欄)	A-9  きれいな川であってほしい。	A-10  サギが魚をつかまえている所	A-11  海の生き物、しぜんの大切さをイメージしてかきました。	A-12  那賀川に生きる鳥をイメージしました。
A-13  たくさんの生き物が住んでいるかんじ	A-14  ウラギクがいっぱいあるような感じ。	A-15  なががわのようすをかいた。	A-16  (空欄)	A-17  ログマークにかいた鳥は、今ではもうみられないので、また那賀川にきてほしいという思いでかきました。	A-18  川の水と鳥でハートを作ってるかんじにしました。

那賀川流域地域ワーキング ログマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

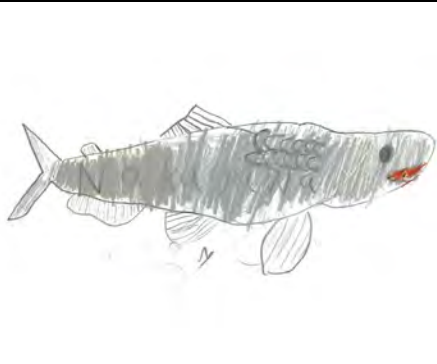
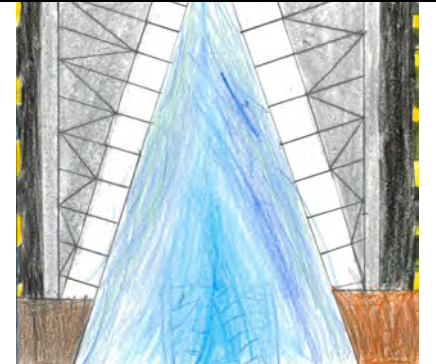
〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-19	A-20	A-21	A-22	A-23	A-24
					
生き物も植物もさいている那賀川の周りをもっとにぎやかにしたい。	鳥も安心して住める川にしたい。	しぜんがあるなか川をイメージするとさかながいたのでこれにしました。	コウノトリがかえってきてほしいからかきました	いろんな魚がいるようなイメージ	色々な動物(ブッポウソウ、ナベヅルなど)が住んでいるイメージ。(ブッポウソウはコウノトリが思い浮かべている。)
A-25	A-26	A-27	A-28	A-29	A-30
					
あゆとのぎくをかきました	魚のアユを書きました。	うねうねしているかんじ	なががわにゴミをすてないでというきもちでつくりました。	あまりみられなくなった生き物をイメージしました。	ハートは命をイメージしてかいた。
A-31	A-32	A-33	A-34	A-35	A-36
					
しぜん	しぜんが多い	人もきょうりよくしてながかわを守っていたからきょうりよくするイメージで作りました。	みんなとなかよくしたいと思ってかきました。	川をきれくしてたりさかなをふやしたい	いきものがたくさんいるイメージ

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-37	A-38	A-39	A-40	A-41	A-42
					
なかがわにはたくさんのアユがいるから	なかがわはあばれりゅうとよばれていたら。	道路と道路にはさまれているなかがわ	このロゴマークは鳥たちがゆたかに生 きれるイメージで作りました。りゅうな みたいがいい人がふえてほしい	(空欄)	川のことを思っ。
A-43	A-44	A-45	A-46	A-47	A-48
					
ブッポウソウがすんでほしい	もっときれいな川になってほしいな という気持ちでかいた。	自然をきれいにしないとイケないの でゴミのないロゴにしました。	いろんな生きものを思いうかべて	さかなをイメージしてつくりました。	とくしまのみんなで海と川をきれいに したいと思ってやりました。
A-49	A-50	A-51	A-52	A-53	A-54
					
なかが川にもっと生き物がふえたらいい なと思ってつくりました。	那賀川にある生き物や食べ物をイメ ジして作りました	しぜんがきれいなかんじでかきました	いない生物もふえてほしい	くまがいなくなってほしくないとかき ました。	川がきれいになるようにと思ってかき ました。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

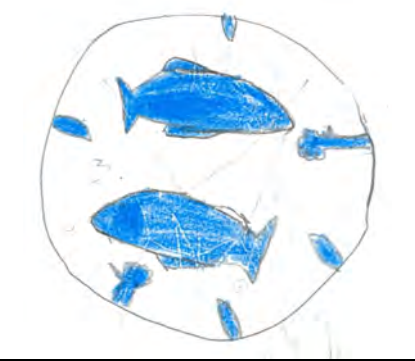
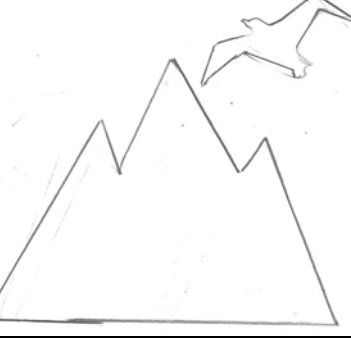
〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-55	A-56	A-57	A-58	A-59	A-60
いろんな生き物たちがたくさんふえたらいいな、というイメージで作りしました。	生き物をもっとふやそう。	もっと川がきれいになってほしいという思いで作りしました。	とりがすきだからとりを書きました。花がもっといっぱい増えたらいいなと思いました。	魚やいろんな生き物がえ顔でいてほしいなあと言う気持ちで作りしました。	魚を大きくイメージで作りしました。
A-61	A-62	A-63	A-64	A-65	A-66
コウノトリ以外の生き物も住めたらいいなというイメージで作りしました。	とりのイメージしました。	どれがミサゴか分からないけどみわけれるようになったらミサゴなどいろんなとりをみたいとおもいながらかきました	魚たちが安全にくらせるようにと思って作りしました。	もっと生き物がくらしやすくなったらいいなと思って作りしました。	花がきれいにさくように書きました。
A-67	A-68	A-69	A-70	A-71	A-72
(空欄)	自然豊かな那賀川流域を背景にしている。それは見方によったら地球にも見える(その中に日本も那賀川もある)	森がなければ生きものがへるということを書いて作りしました	このロゴマークは鳥たちがゆたかに生きられるイメージで作りしました。	ナベヅルを本かく的にしました。	那賀川の自然や生き物をみんなで大事にしようという思いをこめた。自然がたくさんあるイメージで

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

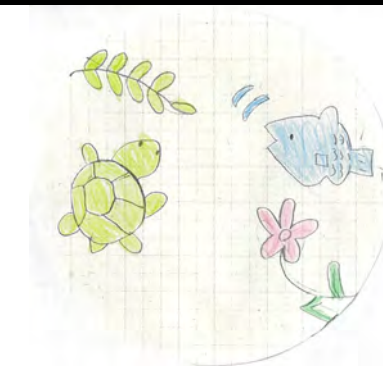
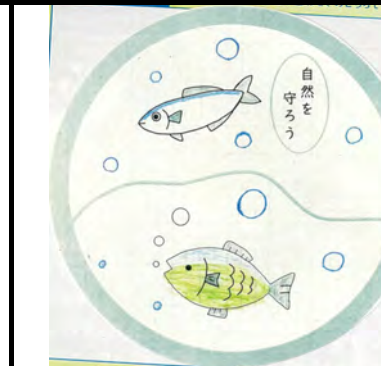
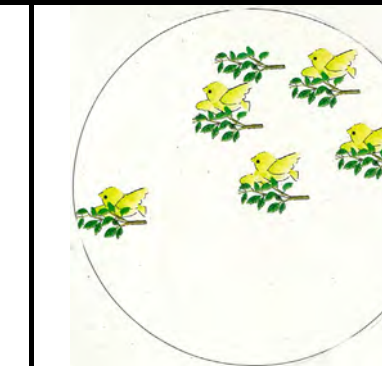
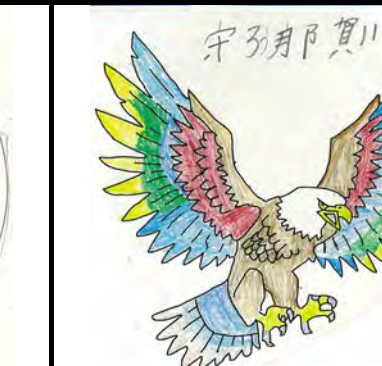
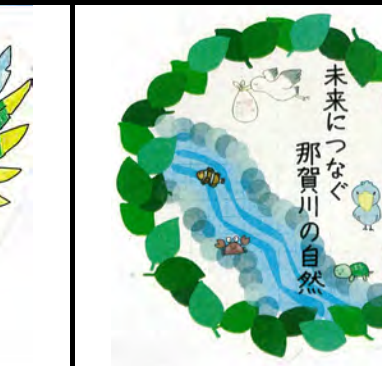
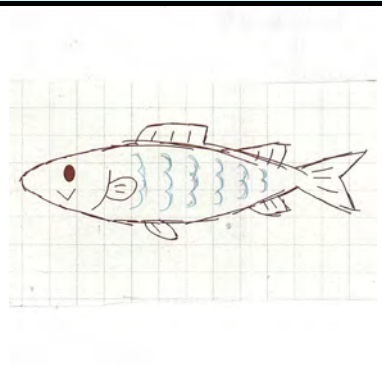
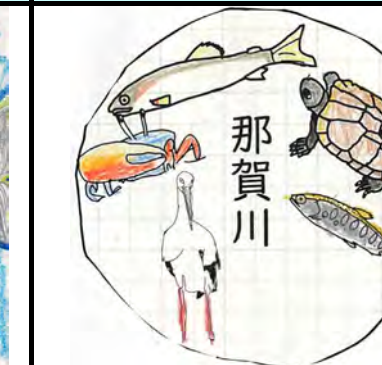
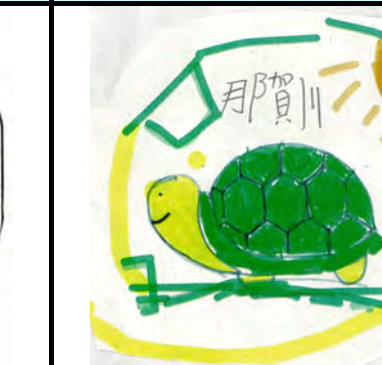
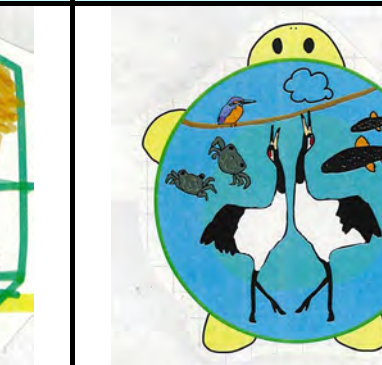
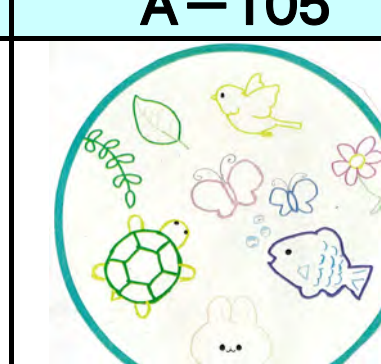
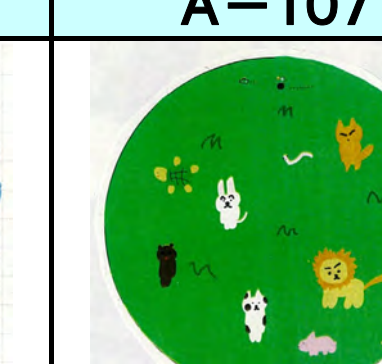
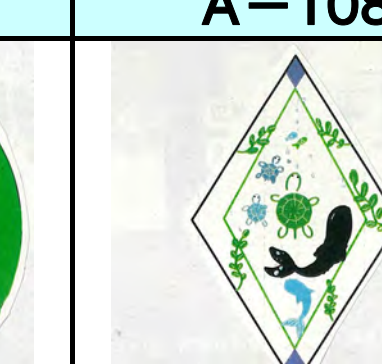
【実施主体】 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-73	A-74	A-75	A-76	A-77	A-78
					
色々などうぶつをいしきしてかきました。	とんでいるつるはきれいな青空の色ではいけいは自然豊かなうすい緑にしました。	コウノトリはあまりいない鳥なのでこれからも、たくさんでてきてほしいというイメージ。	川の自然や生き物をイメージしてつくりました	魚や取りを守りたいと思ってかきました。(那賀川)	那賀川にめずらしい鳥が来る豊かな自然をイメージでつくりました。
A-79	A-80	A-81	A-82	A-83	A-84
					
コウノトリが川を見ているのをイメージしました。	那賀川流域にめずらしいとりがいるのをイメージしました	森がずっとゆたかでいまでは、めったに見られないいきものがいまよりもっといきやすくなっているイメージでつくりました。	鳥が飛んでいる様子をかいた。	世界中の水中とりにくにある命が大量にあるイメージ	動いている感じに書きました。
A-85	A-86	A-87	A-88	A-89	A-90
					
前になかがわにきたナカちゃん達の仲間が来てくれたらいいなと思いました。	コウノトリが空を飛んでいるイメージ	動物や植物を大切にしようと思ってつくりました	魚がすみやすい所を作りたい	色々な植物や、動物などはめずらしい物もいるのでたくさんの人が大切にしたいと思ったのでかきました。	川のみなもとの山とそこに住む鳥など自然をたいせつにしたい。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-91  ナベヅルをイメージして書いた。	A-92  生き物がいっぱいおるイメージです。	A-93  いろんな魚がたくさんきてほしい。	A-94  たくさんのとりが木にきてほしいとおもってつくりました	A-95  きれいに書くイメージ	A-96  にぎやかな那賀川に、いろんな生き物がよってきているようなイメージ
A-97  魚が気持ちよく泳げるように	A-98  那賀川の気持ちを考えてかきました。	A-99  ちょうど花と空の上をイメージして書きました。	A-100  那賀川の生き物をたくさんかいて那賀川の生き物をいろんな人にしてほしい	A-101  ぼくは、かめを那賀川にかめがいてほしいからかめを書きました	A-102  那賀川の豊かな自然に住んでいる生き物たちを想像して描きました。
A-103  那賀川の魚たちをイメージしました。	A-104  なか川の自然を守りたいからです。	A-105  いろんないきものがくらしやすい場所をイメージにしました。	A-106  那賀川にいっぱいの鳥がくるイメージでかきました。	A-107  どうぶつえんからだっそうしたどうぶつたち。	A-108  いろいろないきもの

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

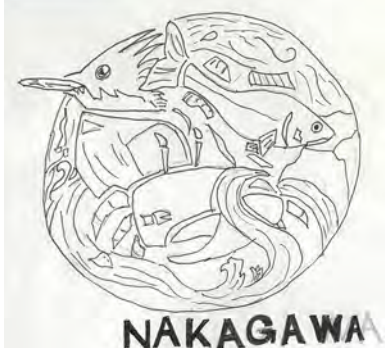
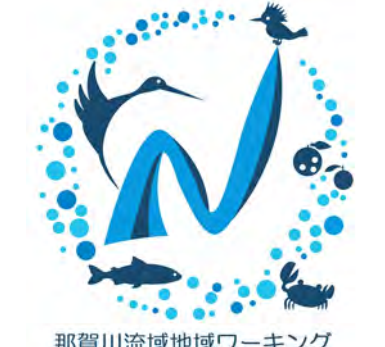
〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-109	A-110	A-111	A-112	A-113	A-114
那賀川の自然を生かして作った	那賀川にとりとかがきてほしい。	ながわの自然ゆたかな川をイメージし、中に「ながわ」の文字を入れました	しらすとくらげをイメージしてかきました。	那賀川にいる生き物を調べたり水がきれいを知ったりして、自然を大切にしたいと思ったから。	川にゴミを捨てたり、生活用水を流しすぎたりすると、昔よりもどんどん汚れてしまうと思ったので、みんなで気をつけようと思ったから。
A-115	A-116	A-117	A-118	A-119	A-120
ぼくは、川釣りや海釣りによくいきます。自分で魚が釣れたらすごくうれしいです。那賀川の魚やまわりに住む生き物がずっと元気でいられるようにしたいです。	地球にはたくさんの人がいて、みんなが輪になって力を合わせて、地球の自然を守っていきたいと思ったから。	那賀川に住んでいる生き物たちが、汚れた水やプラスチックなどで苦しい思いをしないように、みんなにゴミを捨てないようにしたりすぐに拾ったりしてほしいと思ったから。	あゆや那賀川にいる生き物たちがいきいきと住めるように人はみんな協力し合おうという思いを込めました。	私はインコを飼っています。那賀川の周りに住んでいる魚や鳥たちが住みやすいように、これからも那賀川をきれいに保ってほしいから。	自分たちが住む町のすぐそばにある那賀川で、川にはあゆが、空にはサギやコウノトリいるのをイメージして作りました。
A-121	A-122	A-123	A-124	A-125	A-126
那賀川にいろいろな魚や鳥たちが住んでいること知り、那賀川をこれからもきれいな川としてみんなで気をつけていこうと思ったから。	自分たちが住んでいる中流域にいる、サギ・コウノトリなどをイメージして生き物たちが住みやすい那賀川にしようと思って作りました。	私は乗馬をしていて、動物たちが大好きです。那賀川や鷺敷の近くに住む、シカなどの野生の生き物たちが住みやすい環境にするために作りました。	ナカガワノギクなど、那賀川にさく花をたくさん使い、自然を守りたくなるような、あたたかい感じのマークにしました。	アユやめずらしいせいぶつがこれからもふえてほしい	希少な鳥たちや清流のシンボルをモチーフに、小さい子供が見ても分かりやすい感じのイメージ。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

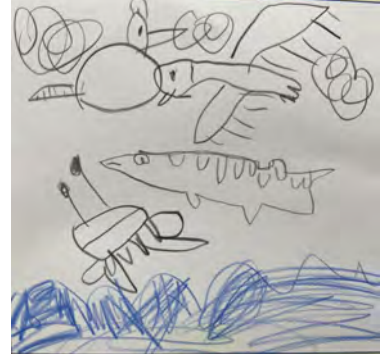
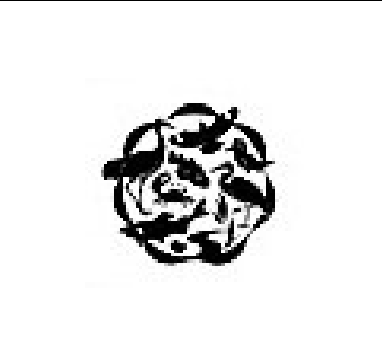
[実施主体] 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A－127	A－128	A－129	A－130	A－131	A－132
					
川と生きものと人のきょうせい	生物と自然との共存をイメージしました。	コウノトリとアユがなかよくしているところをロゴにしてみました。	中央にコウノトリ、その周りにアユやシオマネキ、オヤニラミ、ヤリタナゴなど様々な生き物を描きました。	コウノトリの周りにアユがたくさん泳いでいるのをイメージしました。	那賀川の源流から河口まで続く「いのちの流れ」をテーマに、自然・生きもの・人のつながりを未来へ受け継ぐ思いを込めて制作しました。
A－133	A－134	A－135	A－136	A－137	A－138
					
那賀川流域地域ワーキング	那賀川流域地域ワーキング	那賀川流域地域ワーキング	那賀川流域地域ワーキング	那賀川流域地域ワーキング	那賀川流域地域ワーキング
豊かな水量をたたえ、ゆるやかな曲線を描きながら流れる那賀川の姿を、頭文字である「N」に象徴的に表現し中央に配置しました。その周囲には、コウノトリ・ナベヅル・ヤマセミなどの鳥類、アユ・アマゴといった魚類、そして汽水域に生息するシオマネキが、のびやかに暮らす様子を描いています。 外周の小円は、那賀川の清らかな水と、そこに息づく生き物たちの多様性を示唆する要素です。中央右側には、流域を代表するゆずとスタチを遊び心として添えました。母なる那賀川の永遠の流れと、その流域で生きる多様な生き物たちが未来へと受け継がれていくことを願い、このロゴをデザインしました。	中央には那賀川の頭文字「nA」を据え、流域の山々をはじめとする豊かな環境と、そこに暮らす人々の笑顔を象徴的に表しました。その周囲には「木頭杉の一本乗り」を想起させる杉の年輪を描き、この年輪は、たおやかに曲線を描きながら流れる那賀川の流れをも示しています。同時に、人と生き物が長い時間をかけて育んできた深いつながりを象徴しています。 外周には、コウノトリ・ナベヅル・ヤマセミ・ブッポウソウなどの鳥類、アユ・アマゴといった魚類、そして汽水域に生息するシオマネキが、木頭杉から落ちまいと絶妙なバランスを保っている姿をデザインしました。	中央には、「木頭杉の一本乗り」をモチーフとして杉の丸太の年輪を配置しました。この赤い円は太陽も想起させ、那賀川流域の豊かな環境を象徴しています。周囲には、コウノトリ・ナベヅル・ヤマセミなどの鳥類、アユ・アマゴといった魚類、そして汽水域に生息するシオマネキが、丸太に乗ろうと懸命に挑む姿を描きました。 下部にはたおやかに曲線を描きながら流れる那賀川の流れを示しています。母なる那賀川の絶え間ない流れと、その流域で生きる多様な生き物たちの営みが未来へ受け継がれていくことを願い、このロゴを制作しました。	那賀の「n」を象った背景を丹生谷の森林を思わせる緑で彩り、下部にはたおやかに流れる那賀川の姿をデザインしました。中央には「木頭杉の一本乗り」をモチーフに、杉の丸太の年輪を象徴的に配置しています。この赤い円は太陽をも想起させ、那賀川流域の豊かな自然環境を表現しています。 その周囲には、コウノトリやヤマセミなどの鳥類、アユ・アマゴといった魚類、さらに汽水域に生息するシオマネキが、丸太へ乗ろうと懸命に挑む姿を描き、流域に息づく多様な生命の躍動を表しました。	3羽のコウノトリが、中央に据えた杉の丸太へ乗ろうと懸命にバランスを取りながら挑んでいます。その姿は、いわゆる「木頭杉の一本乗り」を想起させます。丸太が回転することで、那賀川流域に生息する生き物と環境が長い時間をかけて結びついてきた深い関係性を象徴的に表しています。	豊かな水量をたたえ、ゆるやかな曲線を描きながら絶え間なく流れる母なる那賀川の姿を、「繋ぐ」を象徴するチェーンのモチーフで表現しました。コウノトリやナベヅルなどの鳥類の抱卵、アユ・アマゴといった魚類の産卵を描き、自然の恵みを力として命が受け継がれ、繋がりを、流域の価値が高まっていく姿を示しています。 上部には那賀の頭文字「N」を象り、丹生谷の森林を想起させる緑を配しました。さらに、命や太陽を象徴する赤丸を重ねることで、流域を代表する柚子の存在を暗示しています。流域で生きる多様な生き物たちの営みが未来へ脈々と受け継がれていくことを願い、このロゴを制作しました。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-139	A-140	A-141	A-142	A-143	A-144
 那賀川流域地域ワーキング	 源流から海までつながるいのちを、未来へ	 カニやとりたちがいっぱいすんでたのしいよ♡	 那賀川流域 生態系ネットワーク つなぐ、育む、未来へ。		 清流那賀川に咲く可憐な那賀川野菊と、清流に住む「溪流の貴公子（貴婦人）」と呼ばれる希少なヤマセミをモチーフにしてデザインしました。模様を藍色で描き、背景を浅葱色にすることで、徳島の清流「那賀川」らしさを表現しました。
このロゴは那賀川流域の自然と人の営みがひとつの流れでつながり未来へと命を育む「いのちの循環」を象徴しています。鳥が舞い、緑が息づき、魚が泳ぐ、そのすべてが那賀川の流れから生まれる。地域の人々が自然とともに歩む姿を、静かで力強い形に込めました。	那賀川の源流に生まれる一滴の水が、山や森、田畑、まちをめぐり多くのいのちを育みながら海へとつながっていく姿を、一つの雫の中に表現しました。中央を流れる川は、源流から海まで続く那賀川のつながりを表し、アユをはじめとする生きものとともに、人と自然が支えあいながら未来へ続いていくことへの願いをこめました。	カニやとりたちがいっぱいすんでたのしいよ♡	調和とバランスを表現したく、勾玉のデザインにしました。基本は自分のアイデアと手書きで、修正にAIを使用しました。	自然に囲まれている那賀川流域をイメージしました。山の間から流れる川を表現しました。川の形、白抜き部分に視点を向けると下流域に生息している「ナベヅル」の形になっています。自然環境と生きもの良好な状態を表し、未来、ずっとその先までつないでいこうという思いをこめました。	清流那賀川に咲く可憐な那賀川野菊と、清流に住む「溪流の貴公子（貴婦人）」と呼ばれる希少なヤマセミをモチーフにしてデザインしました。模様を藍色で描き、背景を浅葱色にすることで、徳島の清流「那賀川」らしさを表現しました。
A-145	A-146	A-147	A-148	A-149	A-150
 いのちめぐる、 那賀川とともに	 那賀川流域地域ワーキング	 那賀川流域地域ワーキング	 那賀川流域 地域ワーキング	 那賀川流域 地域ワーキング	 那賀川流域 地域ワーキング
那賀川の水が、森から里、川、海へとつながり、多様な生きものと人の暮らしを育んでいく。その「いのちのつながり」を、ひとつながりの形で表現しました。見る人によって、川の流れにも、生きものにも、人のつながりにも見える、那賀川流域の未来をつなぐシンボルです。	那賀川のNをベースに、ナベヅルとコウノトリの羽とアユを対称的に、ダイナミックに図案化	那賀川の「な」をモチーフに、取り組みの考え方である「自然環境がつながっている様子」を表現しました。青は那賀川、オレンジは人の営み、緑は那賀川周辺の豊かな自然環境を表しています。それぞれを一本の流れとしてつなげることで、人と自然が共存し、一体となっていく地域の未来を表現しました。取り組みにおける生息環境づくりの事例から、アユとナベヅルをシンボルとして取り入れています。「飛ぶ」「泳ぐ」動きをイメージし、本来あるべき環境の中で、生き物がのびのびと活動する姿を表現しました。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A－151	A－152	A－153	A－154	A－155	A－156
					
那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。
A－157	A－158	A－159	A－160	A－161	A－162
					
那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀川流域に生息している多様な生物たちをピクトグラムでデザインしています。上流域のアユ・ブッポウソウ・ヤマセミ、中流域のサギ・葦、下流域のナベヅル・カジカ、汽水域のシオマネキ・ヤマトシジミを色分けして分かりやすく伝えています。 包みこむ那賀川から流れる水のイメージで、これからも那賀川流域の自然の魅力が、未来へつながり広がっていく姿を表現しています。	那賀町の「大アユ」と「神戸に近いこと」、よって神戸滞在の外国人を「日帰りオプショナルツアー」でとりこめる。大アユの釣り体験と大アユの美味で町を活性化させる	那賀町の「大アユ」と「神戸に近いこと」、よって神戸滞在の外国人を「日帰りオプショナルツアー」でとりこめる。大アユの釣り体験と大アユの美味で町を活性化させる	「那賀川」の文字と、流域に生息する豊かな生きものたちを一体化させたシンボルマークです。丸いフレーム内に「那賀川」を大胆に配し、カワセミやサギ、アユ、シオマネキなどのシルエットを散りばめ、那賀川の自然の豊かさを表現しました。 また、上流の森林を表す緑から、清流の青、海の彩りへと変化するグラデーションにより、命つながる「生態系ネットワーク」を表現しています。デザインで、モノクロ表現や背景色がある場面でもしっかりと識別できるよう汎用性を備えています。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A－163  「那賀川」の文字と、流域に生息する豊かな生きものたちを一体化させたシンボルマークです。丸いフレーム内に「那賀川」を大胆に配し、カワセミやサギ、アユ、シオマネキなどのシルエットを散りばめ、那賀川の自然の豊かさを表現しました。また、上流の森林を表す緑から、清流の青、海の彩りへと変化するグラデーションにより、命つながる「生態系ネットワーク」を表現しています。デザインで、モノクロ表現や背景色がある場面でもしっかりと識別できるよう汎用性を備えています。	A－164  「那賀川」の文字と、流域に生息する豊かな生きものたちを一体化させたシンボルマークです。丸いフレーム内に「那賀川」を大胆に配し、カワセミやサギ、アユ、シオマネキなどのシルエットを散りばめ、那賀川の自然の豊かさを表現しました。また、上流の森林を表す緑から、清流の青、海の彩りへと変化するグラデーションにより、命つながる「生態系ネットワーク」を表現しています。デザインで、モノクロ表現や背景色がある場面でもしっかりと識別できるよう汎用性を備えています。	A－165  「那賀川」の文字と、流域に生息する豊かな生きものたちを一体化させたシンボルマークです。丸いフレーム内に「那賀川」を大胆に配し、カワセミやサギ、アユ、シオマネキなどのシルエットを散りばめ、那賀川の自然の豊かさを表現しました。また、上流の森林を表す緑から、清流の青、海の彩りへと変化するグラデーションにより、命つながる「生態系ネットワーク」を表現しています。デザインで、モノクロ表現や背景色がある場面でもしっかりと識別できるよう汎用性を備えています。	A－166  「那賀川」の文字と、流域に生息する豊かな生きものたちを一体化させたシンボルマークです。丸いフレーム内に「那賀川」を大胆に配し、カワセミやサギ、アユ、シオマネキなどのシルエットを散りばめ、那賀川の自然の豊かさを表現しました。また、上流の森林を表す緑から、清流の青、海の彩りへと変化するグラデーションにより、命つながる「生態系ネットワーク」を表現しています。デザインで、モノクロ表現や背景色がある場面でもしっかりと識別できるよう汎用性を備えています。	A－167  「那賀川がつなぐ、いのちのネットワーク」那賀川流域に生息するさまざまな生きものとそこに育まれる多様な生命のつながりを表現しました。中央の緑は流域の豊かな自然を、周囲を取り囲む幾重もの青いラインは那賀川の流れと、生態系をつなぐ「ネットワーク」をイメージしています。	A－168  「那賀川がつなぐ、いのちのネットワーク」那賀川流域に生息するさまざまな生きものとそこに育まれる多様な生命のつながりを表現しました。中央の緑は流域の豊かな自然を、周囲を取り囲む幾重もの青いラインは那賀川の流れと、生態系をつなぐ「ネットワーク」をイメージしています。未来に向けて自然を守り育てていくという思いから「Think. Care. Protect. Every Creature's Future.」とメッセージを入れました。
A－169  ロゴは、コンセプトの2本柱「生きものと自然を守り育てる」「自然を活かして流域の魅力を高める」を1つの円形エンブレムにまとめた案です。円全体で「流域循環」「未来へ続く輪」を表現 ・上半分＝緑の山と朝日 → 森を育て、産業や暮らしの営みを表す ・下半分＝那賀川の流れ → 治水・恵みの水を表す ・空を舞う鳥(コウノトリ／ナベヅル)＝生きものが将来にわたり住み続ける流域の象徴 ・川面に泳ぐアユ＝那賀川の清流と生態系の豊かさ	A－170  （関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会、荒川流域エコネットなど）に共通する「大胆な鳥のシルエット＋シンプルな円形」というスタイルに寄せて、力強くまとめ直しました。 ・中央に大きく配置した白い鳥(コウノトリ／ナベヅル)を象徴する飛翔シルエットを主役にし、遠くからでも縮小してもひと目でわかるように ・上部の緑＝流域の森・山、下部の青＝那賀川の流れという構成はそのまま踏襲し、コンセプト①②を表現 ・水面にアユを小さくあしらひ、多様な生きものが共存する流域であることを補足 ・紺・緑・青の3色のみで、拡大縮小や白黒化しても視認性を保てるシンプルな塗り分け	A－171  上流～汽水域のグラデーション、山(森)・田んぼ・川・海(汽水域)を一つの地形として単純化し、色のグラデーションでつなげ、その上に生きもの(ナベヅルやアユ)を配置する構成。「流域全体」を面で見せたい場合に向いています。	A－172  那賀川の流れを一本の線として描き、その線がアユ・コウノトリ・ツル・木々・人の暮らしへつながっていくデザインにしました。	A－173  那賀川の「那」の文字を図案化しました。中央は川と鳥を表し、下部は水辺に遊ぶ魚、上部は豊かな山並みを表しています。	A－174  那賀川を中心に、人と自然、地域と人がつながり、楽しみながら那賀川を巡り、未来へとつながっていく姿を表現しました。 那賀川を軸に人や自然がつながり、循環していくイメージを表しました。「遊ぶ」「学ぶ」「自然を知る」という体験を通して、那賀川をもっと好きになってもらいたい。そんな思いを込めました。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A－175	A－176	A－177	A－178	A－179	A－180
					
那賀川の豊かな自然を舞台に、人が集い、楽しみ、学び、地域を巡る。豊かな自然とアクティビティ。その両方を楽しみながら那賀川を知り、「また来たい」「この景色を残したい」と思える場所へ。人と自然がつながり、その想いが未来へ続いていく。そんな願いを込めました。	自然環境と動物たちの共存を重ね合わせ他デザインで表現しました。	那賀川と山々に住む鳥や魚を大切にしている人たちをイメージしてロゴを考えました。鳥さんはグットマークになっています。魚さんは人に抱っこされています。みんなが楽しい感じが伝えられたらうれしいです。	那賀川の実際の流れを骨格に、流域全体を一つの大きな生命として捉え、龍に見立てました。鳥類や風を表す翼、魚類や水の躍動を表す流線と頭、多様な生きものが那賀川を中心につながり、支え合いながら生きる流域を表現しています。そして、黄緑は森や山などの自然、水色は川の流れ、オレンジ色は人の営みを表し、それが一つの流れに組み込まれています。龍には、豊かな恵みをもたらす一方で、人の思い通りにはならない川への畏れと、その力に向き合いながら共に生きていく姿勢を込めました。また、「nakagawa ryuiki working」の文字を実際の那賀川の流れに沿わせ、川を中心に多様な主体がつながる地域ワーキングの姿を表しています。	那賀川を中心に、鳥・魚・水辺の生きもの・植物と一緒に暮らし、その豊かな自然を未来につないでいく	貴重な鳥の生息地で魚（アユなど）もいて、自然の中での生物のくらしを表現してみました。
A－181	A－182	A－183	A－184	A－185	A－186
					
那賀川の流れと那賀川流域の生息する生きものや豊かな自然を守り地域で活性化する人を象徴。	那賀川流域に生息する生きものや地域を那賀川の流れで表現。又、魅力的な地域を守り、那賀川流域の活性化を象徴。	那賀川のローマ字表記から「NAKA」をそれぞれ、ナベツル、アユとタナゴ、コウノトリ、ヒトにアレンジして、川をあらわす3本の曲線と組み合わせました。	本ロゴマークは、中央を流れる那賀川を中心に、息を吹き返していく豊かな生き物たち（コウノトリ、ブッポウソウ、アユ等）をひとつの『生命の円』として表現しています。全体を下から支え、包み込んでいるのは『地域のひとびとの手（阿波心）』です。 人が思いやりを持って川に接することで、那賀川の生態系が豊かに巡り、未長く未来へ繋がっていく姿を象徴しています。	山と鳥と川	那賀川流域には、豊かな自然がたくさんあり、さまざまな生き物が住んでいます。そして、それらを守り・育み・活かす・人々の努力や活動が、これからずっと続いていって欲しいという思いで考えました。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

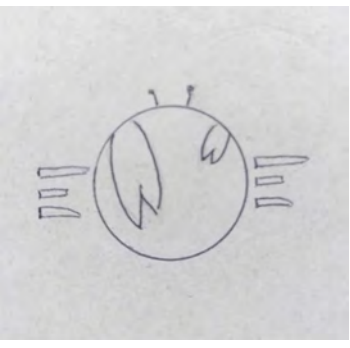
[実施主体] 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-187	A-188	A-189	A-190	A-191	A-192
					
那賀川はくねくねしているの、これをロゴに入れました。	那賀川の「な」を背景に蛇行する川や流域に生きる鳥類・魚類を描いて那賀川の豊かな自然を表しています。	円形のロゴでいろいろなところで使用できるようにしました。背景に山、森を描き、各種生物をそれぞれデザインしています。全体的にブルー系にして、美しい環境をイメージできるようにしました。	一滴の水に流域すべての命が宿る 命の循環を象徴するロゴです。	那賀川流域の豊かな自然と、そこに暮らす生きものたちを主役しました。	那賀川流域の豊かな自然と、そこに暮らす生きものたちを主役しました。
A-193	A-194	A-195	A-196	A-197	A-198
					
コウノトリのように命を運ぶ、那賀川。	那賀川の多様な自然と生きものを、一つの風景にまとめました。	那賀川とそこに息づく自然や生きものを一滴の中に描きました。このロゴマークには『自然と命のつながり』を表現しました。	那賀川を見守っている生き物たち	那賀川を愛してる	葉っぱの中に山々があり、那賀川と共に生き物が暮らし、葉っぱの一滴から水がうまれていきます。

那賀川流域地域ワーキング ログマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-199	A-200	A-201	A-202	A-203	A-204
					
色合いは透き通る美しい那賀川をイメージした水色、守っている・守られているイメージでログマークを丸にしました。丸の中に鳥・川・魚をイメージした図形を入れ、那賀川の魅力を詰め込みました。マークの下にnakagawaと入れ込むことで、よりわかりやすく使いやすいロゴになると思いました。	鍋鍋やコウノトリをイメージし、鳥を描きました。そこに川の流れをイメージしたデザインをはめこみロゴにしました。那賀川の綺麗さや、守る価値のある場所だということが伝わればうれしいです。	那賀川で育った(育っている)鳥が那賀川(故郷)に思いを馳せている様子をログマークにしました。素敵な川・想いが未来に続きますように	那賀川流域の豊かな自然と地域の魅力、そして未来へつながる姿をイメージし、作品を制作いたしました。	那賀川のN(えぬ)をモチーフに川自然とそこに いきづく生き物 なべずる アユ シオマネキ(カニ)等をデザイン化した。又色彩は自然(緑)と川(青)を基調としました	那賀川流域地域ワーキングの取組が『那賀川にすむ多様な生きものたちが将来にわたってすみ続けることができるように、流域の自然を本来あるべき状態で守り育てる』とあるので、清流の周囲の自然を中央に描きました。その周囲に那賀川流域の生き物であるミサゴ、ヤマセミ、ナベヅル、鮎、スナヤツメ、シオマネキのイラストを円形に配置しました。
A-205	A-206	A-207	A-208	A-209	A-210
					
徳島県と那賀川をシンプルなイラストとし、上流から下流に住む鳥や魚を流れに沿って配置した。那賀川流域の豊かな自然や生態系がわかりやすく伝わるように親しみやすいログマークとした。	那賀川に生息しているシオマネキをデザインにいたしました。あしの部分川の漢字をイメージしました	那賀川の自然、人とのつながり、未来への希望を表現した。	那賀川の豊かな清流(青)と、そこに舞うコウノトリや豊かな自然(緑)を抽象的に表現しました。力強く羽ばたく鳥の姿と川の流れを組み合わせることで、豊かな生態系を守り育て、未来へ向けて地域の魅力や価値を高めていく取り組みの躍動感を象徴しています。	那賀川の豊かな水が多様な生命を育む様子を表現。コウノトリを表す「鳥」のシルエットと力強い「若葉」を一体化させ、自然保護と地域振興が共に未来へ成長していく姿をシンボリックに描きました。流域の永続的な生命力を象徴しています。	那賀川流域の豊かな自然と、それを未来へ繋ぐ人々の営みを、∞(無限)のシンボルで表現しました。川辺に佇む鳥や木の葉で流域の生命力を表しています。各種印刷や運用での利便性を考慮して、シンプルかつ汎用性の高い黒一色で仕上げました。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

〔実施主体〕 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

A-211	A-212	A-213	A-214	A-215	A-216
					
那賀川流域の自然保護と活用というテーマに対し、多様な生態系の「循環」と「調和」を柔らかな曲線で表現しました。コウノトリを全体のシルエットとし、その翼や胴体のラインを、蛇行する川や山並み、アユ、草木へとシームレスに繋げています。	那賀川の豊かな流れと羽ばたく鳥、緑の葉をモチーフに、自然の保護と地域の発展を表現しました。ヘッダーや各種媒体での利便性を考慮し、あえて安定感のある横長の形状を採用。生きものが共に生き、地域の魅力や価値が未来へ広がっていく姿を逆S字型のラインに収めました。	那賀川と生きものを極限までシンプルな造形で表現しました。斜め上を見つめるコウノトリの姿に、自然を守り育てる未来への希望と、流域の魅力や価値をさらに高めていく前進の思いを込めています。	那賀川流域の豊かな自然と、それを守り育てる人々の思いを、シンプルなピクトグラムで表現しました。人がコウノトリを抱く姿は共生と保護を、流れる青いラインは清流・那賀川を象徴しています。誰もが一目で活動の本質を理解できるよう、要素を最小限に絞りました。	那賀川の水の流れを模した青い曲線で、流域の自然がもたらす恵みと力強さを表現しました。その恵みを、人が両手で大切に抱え込むような構図にし、「守り育てる」意志を象徴的に描いています。手の中にはコウノトリ、アユ、葉を配置し、多様な生態系が将来にわたって共生する豊かな未来像を込めています。	那賀川の豊かな自然（波、葉、水滴、コウノトリ）を、人が優しく抱くハートのフォルムで表現しました。自然を守り育て、その魅力を活かして地域の未来を共創する、温かいパートナーシップを象徴しています。
A-217	A-218	A-219	A-220	A-221	A-222
			 那賀川流域地域WG		
那賀川の豊かな流れの上で、芽吹く命を人が優しく包み込み育てる姿を描きました。自然を守り育てる姿勢と、その恵みを活かして地域の未来や価値を高めていく取組の一体感を表現しています。	那賀川の豊かな自然と、笑顔でジャンプする人を中央に配置。コウノトリやツル、アユ、青々と茂る木々に囲まれ、人間と生きものが共に生き生きと暮らす未来を表現しました。みんなで自然を守り、流域の魅力を元気に高めていこうというワクワク感を込めています。	那賀川を泳ぐ魚、大空を舞う鳥、育つ若木、そして笑顔の人を円の中に描きました。豊かな自然を守り育て、その恵みを活かして人間と生きものが共に活気ある未来を描く、那賀川流域の調和と魅力を表現しています。	温かみのある手書き風の柔らかな筆タッチで人や豊かな自然、生き物を描き、人間と生命が調和して未来へ優しく包み込む姿を表現しました。那賀川の自然を守り育て、その恵みを活かして地域の魅力を高めていく取組のぬくもりと持続可能性を込めています。	那賀川の清流と佇むコウノトリを、極限まで削ぎ落としたシンプルな直線と曲線でシンボル化しました。豊かな自然と生きものが共に未来へ歩む姿を表現。無駄のないミニマルなデザインで一目で記憶に残り、流域の魅力と保全のメッセージを力強く伝えます。	那賀川の豊かな水と命を包み込む「人の手」を力強く表現しました。アユなどの生きものをそっと包み守るシルエットを描くことで、地域の力強い取組と温かな慈しみを力強くダイナミックなタッチで表現しています。自然と人が調和し未来へつなぐ意思を込めたデザインです。

那賀川流域地域ワーキング ロゴマーク 応募作品一覧

※応募作品は順不同で掲載しています。記載の応募作品は、ご応募いただいたデータ（JPEGまたはPDF）、紙でのご応募の場合は、そのスキャンデータを掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

[実施主体] 那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

					
那賀川流域の生き物や豊かな自然を両手で守る造形をモチーフに、那賀川流域の生き物や自然を守り育て、その周りに棲むいろいろな生き物・那賀川流域の自然や生き物のPR・発信するひろがり・輝きをイメージしデザイン。	那賀川流域の生き物や豊かな自然を両手で守る造形をモチーフに、那賀川流域の生き物や自然を守り育て、その周りに棲むいろいろな生き物・那賀川流域の自然や生き物のPR・発信するひろがり・輝きをイメージしデザイン。	那賀川の「N」をモチーフに、川・山・コウノトリ・アユを組み合わせました。自然、生き物全てが一体となって那賀川を作り上げている。そんな魅力溢れる那賀川流域を、このロゴマークを通じて多くの人に知ってもらいたいなと思い書き上げました。	コウノトリ・アユ・植物を円のように描き、中央に山を表現し繋がる様子を描きました。カラーは徳島県のカラーである藍色をつかい、「流域のつながり」「循環」「共生」をイメージしたロゴマークです。	那賀川を中心に、そこに生きる多様な生命と人、地域のつながりを一つの有機的なシンボルに表現しました。中央を流れる青い曲線は那賀川の流れであり、同時にアユの生命感を想起させる形としています。上部の緑の曲線は鳥の翼を抽象化し、水辺から空へ広がる生態系を表現。下部へ広がる複数の流線は、支川や水辺、生きもの、人、地域がつながる生態系ネットワークを象徴しています。 個々の生きものを直接描かず、余白と一体化した流線によって、自然と地域が循環しながら未来へつながっていく姿を表現しました。	那賀川源流モニュメント型の中に那賀川流域に生息する生き物のシルエットを白抜きで表現しました。
					
「な」というひとつの文字から、豊かな清流（那珂川）と、そこに息づく命（コウノトリ・アユ）、そして地域が放つ輝くような魅力が有機的につながっていく様子を描いたデザインです。自然の美しさをシンプルかつ洗練されたフォルムで表現し、地域が持つ本来の価値と持続的な豊かさを直感的に伝えるシンボルとなっています。この豊かな自然と地域社会のつながりが、未来永劫ずっと守られ、輝き続けますように。	那賀川流域の田園風景をイメージしました。	那賀川流域の自然や生き物の姿を表現しています	「那」の文字を基調にコウノトリとアユを描き、5色のラインで環境を再生する「人の右手」を表現しました。赤は太陽、緑は山や田んぼ、エメラルドは那賀川、青は生命、水色は自然を表し、失われかけた豊かな環境を人の手で再び取り戻す深い想いを込めています。	那賀川流域の頭文字「N」を那賀川と流域に、那賀川に生息する1部のナベヅル、コウノトリ、カワセミ、アユ、シオマネキを組み合わせ「那賀川流域の豊かな自然」をアピールしている姿にイメージして表しました。	

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

那賀川流域地域ワーキング（事務局：国土交通省 四国地方整備局 那賀川河川事務所）

通し番号	応募作品	作成イメージ
B-1	命のバトンをつなげよう	(空欄)
B-2	那賀川をこれからもきれいにつかっていこう	(空欄)
B-3	アユの放流大きくなって帰ってきてね。	(空欄)
B-4	コウノトリのしぜんを守ろう。	(空欄)
B-5	守る。活かす。つなぐ。那賀川の未来	(空欄)
B-6	魚も鳥も集まる！！自然いっぱい那賀川	(空欄)
B-7	鳥が見守るきれいななか川	(空欄)
B-8	はばたく、こだわり。	(空欄)
B-9	なかがわいい川みんなの川	なかがわは、いいかわだからみんながすめる
B-10	生き物がすむ ゆたかな川へ つないでく	魚とか生き物がへっていると書いていたので、生き物がすむ所にしたいと思ったから。
B-11	まもう、みんなの宝物、つながるなかがわ	海の大切さをイメージしました。
B-12	しぜんをつなぐ那賀川	那賀川のゆたかなしぜんをみらいにつなぐイメージ
B-13	大切な生き物達が住んでいる大切な那賀川	どっちも大切
B-14	しぜんがっぱいな那賀川	しぜんがっぱいな感じ。
B-15	おとなになってもいきたいばしょ	いつきてもおちつくようなイメージでつくった。
B-16	みんなにあいされる、すてきな那賀川に！	みんなにあいされるような、すてきな那賀川になってほしいなという思いでかきました。
B-17	川の水と鳥のハート	(空欄)
B-18	きれいな那賀川をみんなに伝えてよりゆたか	きれいな那賀川をみんなに伝えてもっとゆたかにしたい。
B-19	安心して住める川	(空欄)
B-20	なか川がもっときれくなってほしい	もっともっときれくなってほしいから
B-21	コウノトリ、帰ってきて	コウノトリがかえってきてというきもちでかきました
B-22	いろんな魚	(空欄)
B-23	希少な動物・魚・植物でも住める那賀川に。	アユモドキやアカメが住めるような川にしたいと思って書きました。
B-24	みらいへながれるなかがわ	(空欄)
B-25	那賀川は魚がっぱい泳いでいる。	那賀川は魚がっぱいいるから書きました。
B-26	しぜんがっぱい！！	みどりがっぱい
B-27	きれいななかがわをきずつけないで。	なかがわをきずつけないでというイメージでかきました。
B-28	ゴミをすてないすてきななかがわに。	ゴミをすてないすてきななかがわになってほしいというイメージでかきました。
B-29	いきものを大切に	命やどうぶつを大切にしてほしいから。
B-30	那賀川、の自然東京の100万倍	他県よりしぜんが多い
B-31	一目ですごいとわかる川	なかがわはすごいことをしょうめいしたい
B-32	チームをくんでなかがわを守ろう	なかがわを守りたいから『守ろう』を入れました。
B-33	オーイっしょにあそぼうよ～	絵に合せて気持ちをかきました。
B-34	ゴミをなくしてさかなを守ろう。	(空欄)
B-35	命をつなぐあばれりゅう	魚の命を大切にしていきたい。
B-36	まもうみんなのきれいなかがわ。	(空欄)
B-37	きれいでやさしい川！那賀川大すき！！	いつもきれいだから
B-38	守ろうみんなのシンボル	守ろうみんなのシンボル
B-39	生きものにでもやさしいりゅうな	ほんとにやさしいしがっこうのゆうめいなきやら
B-40	守ろうきれいな大自然	ぼくは自然が大好きなので、自然を守りたいという気持ちでかきました。
B-41	自然を大切にしよう！	自然を大切にしたいと思いました。
B-42	那賀川最高！	那賀川最高！！
B-43	つながる命大切に	つながる命
B-44	飛んでくるよ みんな大すきコウノトリ	きれいな川に大きくてゆうがなみんなが大すきなコウノトリが飛んでくるイメージ
B-45	那賀川は貴重な自然や生き物があるよ	貴重な生き物がいたりすることを伝えるイメージ
B-46	私達が守らなきゃ！そこにある大きな命と川	絵にあわせてかきました。
B-47	那賀川の自然を守っていこう！	これから守って行って自然ゆたかな町にしたいと思ってかきました。
B-48	みんなで繋げよう自然や動物の命	いつまでも自然ゆたかがいいというイメージでつくりました。
B-49	那賀川を自然豊かな街に。	那賀川を自然豊かな街にしたいから。
B-50	生き物の 豊かな鳴き声 いつまでも	生き物の鳴き声がいっまでもきこえるのをイメージしました。
B-51	魚が住みつく自然豊かな那賀川を守ろう	自然豊かな那賀川を守りたいからです。
B-52	好き嫌い 勇気を出して 食べてみよう	少しでもフードロスを減らすため。
B-53	魚やカメたくさん自然豊かな那賀川にしたい	さいきん川がきたないからきれくなってほしいからかきました。
B-54	あってるかな私達の行動	私たちの行動はあっているかな？と問いかけるようなキャッチコピーにしました。
B-55	自然を大切に。	(空欄)

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-56	自然を大事に動物や生き物を大切に	那賀川にいる生き物を調べたり水がきれいことを知ったりして、自然を大切にしてほしいと思ったから。
B-57	那賀川のしぜんを大せつに	ぼくは、川釣りや海釣りによくいきます。自分で魚が釣れたらすごくうれしいです。那賀川の魚やまわりに住む生き物がずっと元気でいられるようにしたいです。
B-58	ゴミがあったらすぐひらおう。	那賀川に住んでいる生き物たちが、汚れた水やプラスチックなどで苦しい思いをしないように、みんなにゴミを捨てないようにしたりすぐに拾ったりしてほしいと思ったから。
B-59	協力して自然を守ろう！！	あゆや那賀川にいる生き物たちがいきいきと住めるように人はみんな協力し合おうという思いを込めました。
B-60	川をきれいに 大切に！	私はインコを飼っています。那賀川の周りに住んでいる魚や鳥たちが住みやすいように、これからも那賀川をきれいに保ってほしいから。
B-61	あゆがのぼる われらのふるさと	那賀川といえば、あゆだと思いました。これからも魚が自由に泳げる那賀川であってほしいと思ったから。
B-62	美しい空と清らかな川が育む生命の輝きを未来へ	美しい空と清らかな川が育む生命の輝きを未来へ
B-63	渡り鳥も帰る郷、アユが踊る川を次の世代へ	美しい空と清らかな川が育む生命の輝きを未来へ
B-64	自然ええけん！NAKAGAWA	徳島らしく自然を伝えた
B-65	清流が育む、豊かな自然あふれる那賀川。	自然を強調してつくりました。
B-66	しぜんのいきものをふやそうきっとたのしい	(空欄)
B-67	那賀川が生かす。那賀川を活かす。	那賀川が多様な暮らしを「生かす」とこと、私たちがその恵みを地域へ「活かす」とこと。この二つの意味を込め、川と私たちの繋がりを表現した。本コピーはあえて目的語を省略し、言葉足らずな形にしている。これにより、読んだ人の心に「那賀川は何を生かしているの?」「どう活かすのだろうか?」という疑問が自然と湧き上がる。すべてを語らず余白を残すことで、自ら那賀川の自然に意識を向け、考えるきっかけを作るよう設計した。
B-68	いろんなヤツらが生きています！いろんなヤツらが消えそうです。	那賀川にはたくさんの生物たちや人の文化が生きているという素晴らしさと、何もしなければそれらを失ってしまうという事実を表現した。「生きてます!」という生命力と「消えそうです。」という静かな危機感のギャップで読んだ人の心に残るよう設計した。本コピーは生き物や文化が写ったポスターやロゴとともに見せることで、読み手に那賀川に生き、消えそうな「ヤツら」が一体何なのかを具体的に想起させられると考えた。
B-69	那賀川は育む。生き物を、地域を、無関心な私を	保全では無関心な人を減らすことが大切である。しかし、従来の自然の美しさや保全活動の志を伝えるだけのコピーでは、自然に対して無関心の人の心には残らないため、一歩踏み込む必要がある。そこで「無関心なあなたも那賀川の恩恵を受けている」というメッセージを込め、無関心層へ当事者意識を与え、心に引っかかるように作成した。本コピー是那賀川の実しさや、保全活動の内容を伝えるものではない。読んだ人の興味を引き、自発的に自然や保全活動について知りたくなるような入口としてのキャッチコピーである。
B-70	川と自然を守るのは、あなたを守りたいからです。	環境保全は「意識の高い自然好きが生き物のために行うもの」と誤解されがちである。しかし根本的には、生態的サービスに代表されるように、人々の暮らしや命を守る行為に他ならない。そのことを知ってもらいたいと考え、本コピーを作成した。本コピーは「あなた」と直接呼びかける構成により読み手との距離を一気に縮め、無関係だと思っている人に当事者意識を持たせる狙いがある。
B-71	環境保全は人間保全だ	環境保全という聞きなれた言葉に対して、「人間保全」という聞きなれない言葉を対応させることで読み手に違和感を与えるフックとした。
B-72	那賀川のいのちの流れを、未来へ。	那賀川の源流から河口まで続く「いのちの流れ」をテーマに、自然・生きもの・人のつながりを未来へ受け継ぐ思いを込めて制作しました。
B-73	那賀川のなかまとつくる豊かな未来	那賀川にすむ生き物は大切な仲間です。だからいっしょに支えあってこれからの暮らしを守りたいし豊かにしていきたいという願いをこめています。
B-74	川がつなぐ価値を、未来へ流す。	那賀川の流れによって繋がれた生き物たちの命も含めて未来へ託すさまを込めています。
B-75	多様ないのちが息づく川を未来へ。	那賀川の流れによって繋がれた生き物たちの命も含めて未来へ託すさまを込めています。
B-76	流域が育む、いのちと暮らしの環。	いのちと暮らしの循環を暗示しています。
B-77	自然と暮らしがめぐり続ける流域。	自然と暮らしの良き循環を示唆しています。
B-78	自然の力で、流域の未来をひらく。	自然の偉大さを今一度再認識する機会になればと思っています。
B-79	源流から海までつながるいのちを、未来へ	「源流から海までつながるいのちを、未来へ。」は、水によってつながる豊かな自然と多様ないのちをたいせつに守り、次の世代へつないでいきたい。その願いを誰にでも伝わりやすい言葉で表現しました。
B-80	いきもの いっぱい たのしい なかがわ	わたしのだいすきなかわ♥また あそびたいな♪
B-81	つなぐ、育む、未来へ。	この言葉が、HP等を拝読ししっかりときました。繋いで、はぐくんで、豊かな未来の実現を。という思いをこめました。
B-82	清流から始まる那賀川の恵	源流から那賀川流域全体まですべて自然の贈り物・恵と思いかんがえました。
B-83	大自然の万華鏡～生命輝く那賀川～ (英語バージョン Nature's Kaleidoscope River)	四季の移ろいととともに、自然豊かな美しい姿を見せてくれる清流、那賀川。そして、そこに息づく多種多様で希少な、愛しみ守りたい生命達。その美しさ、輝きを、万華鏡に例えました。清流、那賀川のきらめき、そこに息づく西部の生命の輝きが伝わるように考えました。
B-84	いのちめぐる、那賀川とともに	「いのちめぐる」には、森・川・農地・海がつながり、多様な生きものの命や自然の恵みが循環していく姿を込めています。「那賀川とともに」には、自然を守るだけでなく、その恵みを活かしながら、人と自然がともに地域の未来をつくっていくという思いを込めました。
B-85	生き物を守る、それは人間を守ること	生物環境を保全することは、人間を守ることと謙虚な活動が望まれる。
B-86	美しい自然、心地よい川風	美しい那賀川の自然環境を守っていくとき、そこに私たちへの心地よい川風がささやく。
B-87	生きものと共に生きる豊なくらし	人はこの川に生きる生きものたちを守り、共に生きていくことで豊かなくらしが営める。
B-88	この川の豊かな自然と共存共栄	私たち人間は、那賀川の豊かな自然を生かし生かされ、共存共栄を図りたい。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-89	藍の里から育もう自然豊かな那賀川を！	藍の里(徳島)の郷土愛で那賀川を自然豊かに育てて行くと言う心構えを表現しました。
B-90	安全のバロメーターです潜水橋	(空欄)
B-91	観光で深緑紅葉眺め、水力発電生活の源	(空欄)
B-92	人類の英知と責務で繋ごう豊かな那賀川を	那賀川流域の豊かな自然を守る
B-93	おかえりなさい…青い国	人も生き物も帰っておいで、青い空、青い水的那賀川へ
B-94	アユの道、ツルの里、人のふるさと、那賀川	みんなのそれぞれの生活が重なっているイメージ 人だけではなく、他の生物にとっても必要な場所でありそれらが交錯する場所であることを想像して作成
B-95	この素晴らしい、いのちのにぎわいを。	この流域がかけがえのない生物圏であることを「いのちのにぎわい」をキーワードとして表現。
B-96	いのちきらめく、自然のめぐみ真ただ那賀川。	「真ただ中」と「那賀川」を合体してややユーモラスに表現。
B-97	那賀川が結んで開いて、育てる明日へ。	流域の持つ可能性を人口に膾炙した唱歌のフレーズを活かして表現。
B-98	1日で世界を魅了する大アユ	那賀川の魅力は「大アユ」と「神戸に近い」こと。よって、神戸滞在の外国人客を「日帰りオプションルツアー」でとりこめる。大アユの体験釣りで大アユの美味で町を活性化させる。
B-99	まずは見ろ 魚が見える この川を	「那賀川流域地域ワーキング」を拝読しました。まず、大前提の生きものが棲めるほど川がきれいというのをアピールすべきと思いました。すばらしく、決して当たり前のことではない！
B-100	那賀川は、いきものの地元です。	「地元」を人だけの言葉にせず、川をのぼるアユや、里で冬を越すナベヅルにも広げました。生きものが暮らし続けられる場所は、人にとっても誇れる土地になる。産卵場づくりや鳥が過ごせる田んぼなど、自然を守る仕事と地域の魅力が同じ場所で育つことを、親しみのある一文で表しました。
B-101	那賀川の恵みを、地域の力に	那賀川の豊かな自然や多様な生きものといった「恵み」を守り育てる取り組みが、地域の魅力向上や産業振興などの「力」につながっていくという、ワーキングの目指す姿を端的に表現しました。自然環境の保全と地域活性化の両立を目指すビジョンを分かりやすく伝え、市民・企業・行政など誰もが共感し合える親しみやすい言葉にまとめています。
B-102	守ろう、豊かな自然。活かそう、清流の恵み。	那賀川の自然環境を「保全する側面」と、それを地域域の活性化や産業に「活かす側面」の両立を端的にアピールしました。
B-103	さらに那賀川 輝くいのち ゆめ未来	さらに良い地域になるために進めているワーキングの取組みをイメージ。希望に満ちた未来志向の作品をつよく意識しました。
B-104	広げよう 那賀川の和 いのちの輪	「和」に、心やすらぐ那賀川流域、憩う人の和、人と自然の調和をイメージ。「輪」に、生命のつながり、地域の絆、大きな自然の2循環を連想しました。
B-105	守ろう那賀川 活かそう自然 育てよう未来	那賀川の豊かな恵みを守りながら、自然を上手に活かした暮らしをアピール。那賀川を守り育てることは、輝く未来を育むことにつながると考えました。
B-106	豊かだな 人も自然も 輝く那賀川	那賀川流域の自然の豊かさを強くアピール。豊かな自然につつまれて、人の心も命も輝く喜びを表現しています。
B-107	遊ぶ学ぶ生かす！那賀川の自然をいつまでも	那賀川流域の豊かな自然を守るだけでなく、環境学習やレクリエーションとして「遊び」「学ぶ」場所、それらを産業や観光に「生かす」価値があることを、前半のテンポ良い言葉で表現しました。「未来へ」というありきたりな表現ではなく、「いつまでも」という言葉を選ぶことで、この美しい故郷の自然を絶やすことなく、ずっと愛し、守り続けていきたいという切実な願いと愛着を込めました。
B-108	那賀川の豊かな自然にいい流れを	那賀川流域の豊かな自然を知り、楽しみ、そして守り抜いて未来へつなぐいい流れをつくっていききたい気持ちを表現しました。
B-109	誰かに自慢したくなる自然がここにある	那賀川流域の豊かな自然を自ずと自慢したくなるほどの魅力を伝えたいと思いました。
B-110	ラブ ネイチャ、ラブ那賀川。	コンセプトの方向性：1.那賀川流域の生きものや自然を守り育てる。(生物の多様性を活かす)2.自然を活かして流域の魅力や価値を高める。(自然価値を高める・育てる・次世代へ繋ぐ)／キャッチコピーの“あらまほしき世界観”：◇自然を守る(protect nature)◇自然から学ぶ(learn from nature)◇自然に親しむ(get close to nature)◇自然の中で生きる(live in nature)キーコンセプト：Love Nature！ Love Nakagawa！自然を慈しむ(Love Nature) 那賀川を愛す(Lobe Nakagawa) 加えて“キモチ”を申し上げれば、【那賀川へ 来て観て触れて 守ろうね】でしょうか……。ただし事業性の大きさから鑑みて、グローバルな視点、ダイナミズムで簡潔な語彙を編みました。
B-111	【那賀川とともに、自然も暮らしも未来へ	「守る」と「活かす」の両テーマを一文に収めたバランス型
B-112	守り育て、活かす那賀川の恵み	(空欄)
B-113	コウノトリ舞う那賀川、次の世代へ	生きものの象徴性を前面に出した訴求型
B-114	生きものと人がつながる那賀川流域	「人と自然のつながり」という流域全体の理念を端的に表しています。
B-115	那賀川の恵みを守り、未来へつなぐ	「守る」と「活かす」の両テーマを一文に収めたバランス型
B-116	那賀川とともに、生きものも暮らしも未来へ	「守る」と「活かす」の両テーマを一文に収めたバランス型
B-117	アユのぼり、鶴舞う那賀川、いつまでも	アユ・ツル・コウノトリなど具体的な生きものを前面に出し情景を思い描かせるタイプ
B-118	那賀川の自然を守り、恵みを活かす	行政・団体の公式コピーによく見られる端的な言い切り型
B-119	生きものが繋ぐ、那賀川流域の未来	「つながり」を軸に流域全体の一体感を表現
B-120	那賀川流域、自然の力で、これからも	行政・団体の公式コピーによく見られる端的な言い切り型
B-121	アユのぼり、ツルの舞う那賀川	「生きもの」「地域・くらし」の両方を短い言葉に凝縮する構成が多いようです。「つなぐ」「育む」「舞う」あたりが頻出キーワードなので、この路線は無難に評価されやすい反面、差別化には那賀川ならではの固有名詞(アユ・ナベヅル・コウノトリなど)を入れる方が印象に残りやすいと思います。
B-122	生きものと生きる、那賀川流域	「生きもの」「地域・くらし」の両方を短い言葉に凝縮する構成が多いようです。「つなぐ」「育む」「舞う」あたりが頻出キーワードなので、この路線は無難に評価されやすい反面、差別化には那賀川ならではの固有名詞(アユ・ナベヅル・コウノトリなど)を入れる方が印象に残りやすいと思います。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-123	那賀川の恵みを、明日の力に	「生きもの」「地域・くらし」の両方を短い言葉に凝縮する構成が多いようです。 「つなぐ」「育む」「舞う」あたりが頻出キーワードなので、この路線は無難に評価されやすい反面、差別化には那賀川ならではの固有名詞(アユ・ナベヅル・コウノトリなど)を入れる方が印象に残りやすいと思います。
B-124	流域の自然が、まちの誇りになる	「生きもの」「地域・くらし」の両方を短い言葉に凝縮する構成が多いようです。 「つなぐ」「育む」「舞う」あたりが頻出キーワードなので、この路線は無難に評価されやすい反面、差別化には那賀川ならではの固有名詞(アユ・ナベヅル・コウノトリなど)を入れる方が印象に残りやすいと思います。
B-125	生きものをつながる、那賀川流域	「生きもの」「地域・くらし」の両方を短い言葉に凝縮する構成が多いようです。 「つなぐ」「育む」「舞う」あたりが頻出キーワードなので、この路線は無難に評価されやすい反面、差別化には那賀川ならではの固有名詞(アユ・ナベヅル・コウノトリなど)を入れる方が印象に残りやすいと思います。
B-126	那賀川がつなぐ、生きものとからし	「生きもの」「地域・くらし」の両方を短い言葉に凝縮する構成が多いようです。 「つなぐ」「育む」「舞う」あたりが頻出キーワードなので、この路線は無難に評価されやすい反面、差別化には那賀川ならではの固有名詞(アユ・ナベヅル・コウノトリなど)を入れる方が印象に残りやすいと思います。
B-127	那賀川を守る。暮らしが育つ。	那賀川の豊かな自然を守り育てる取組と、そこから生まれる暮らしの明るい未来を、短く力強く表しました。
B-128	生きものと、仕事と、明日が流れる。	生きもの、仕事、暮らし、未来が那賀川の流れに沿って一つにつながるイメージを表しました。
B-129	那賀川と生きる。那賀川を活かす。	自然と地域の暮らしを対立させず、那賀川と共に生きる姿勢を端的に表しました。
B-130	自然の力を、地域の力へ。	那賀川の自然が持つ力を、地域の活力へつなげる取組の方向性を表しました。
B-131	流域まるごと、いのちの仕事場。	那賀川流域の自然を守る力と、地域の人々の営みを一つの場として捉えました。
B-132	自然と社会が 川でつながる コミュニティ	那賀川をとおして、自然と地域社会がつながるコミュニティであることを表した。
B-133	自然の魅力で 地域の価値を 高めよう	那賀川周辺の自然を守ることで、魅力を高め、その結果地域の価値も高まることを表した。
B-134	川と生きものと暮らしを、未来へつなぐ那賀川	「川」は流域をつなぐ那賀川、「生きもの」はコウノトリやツル類、アユなど多様な生態系、「暮らし」は農林水産業や産業、観光、日々の生活を表しています。これらを別々に捉えるのではなく、自然を守り、その恵みを地域の魅力や産業に活かしながら、人と自然が共生する未来をつくっていくという地域ワーキングの理念を表現しました。 また、「つなぐ」には、生きもの同士、自然と人、地域と地域、そして現在と未来をつなぐという、生態系ネットワークの広がりへの願いを込めています。
B-135	みんなが仲間さアースフレンド	地球規模で自然を大切にする仲間たち。仲間という言葉には「那賀川」を、アースには「明日・未来」を重ねています。
B-136	なかがわ愛 種は自然と誠実さ	(空欄)
B-137	自然フル！ どんとこいなかがわ愛	(空欄)
B-138	よう来たと那賀川 全開葉音虫の音沢風も	自然環境の基本根本は「森川海」にあり、その真ん中に「川」があるということです。
B-139	環境保全てなに？…那賀川は知っています！	環境保全と言うとむずかしいイメージだが那賀川流域でやっている事を知れば分かるという意味で那賀川は知っていると表現
B-140	来て 見て 接して…那賀川の豊かな自然を確かめて。	環境保全の重要性・難しさは、現場でどんな事をやり、どんな問題や苦労があるのか、見聞き 体験しないと分からない
B-141	繋がる・巡る・続いてく	遊ぶ。学ぶ。好きになる。その先も、那賀川とつながっていく。 触れることから、知ることから、感じることから始まる。繋がる、続いてく、未来へと。
B-142	つながる・巡る・未来へ	那賀川の豊かな自然を舞台に、人が集い、楽しみ、学び、地域を巡る。 体験が未来の那賀川へ続いていく
B-143	那珂川と生きる那珂川活かしてく	那賀川流域の自然の豊かさを感じ感謝しながら生きる、そしてその那賀川を次世代につなぎ環境を守り活かしていく様子を表現しました。
B-144	自然のまんなか、那賀川。	「まんなか」には、那賀川が豊かな自然の中心であり、人々の暮らしや生きものを育む大切な存在であるという思いを込めました。 また、「まんなか」と「那賀川」の響きが心地よく重なり、親しみやすく覚えやすいキャッチコピーになるよう工夫しました。那賀川の豊かな自然がこれからも未来へ受け継がれてほしいという願いを表現しています。
B-145	那賀川の自然が夢をプレゼント	素晴らしい那賀川の自然に触れていると生きている喜びや夢がふくらんできます。 短歌形式にすると冗長になってしまうので、俳句形式にして、おさまりの良い体言止めにして余韻をふくらませてみました。
B-146	もどってきたよ アユもツルも 那賀川流域に	多くの人たちによって守られてきた自然豊かな那賀川流域にナベヅルやコウノトリなどの鳥類、アユやアマゴなどの魚類など貴重で多様な生き物たちがもどってきた。 作品は多くの人にその素晴らしさを是非とも見て欲しい、そして豊かな自然といのちの輝きを 未来へつないで地域の活性化を目指していこう、そんな地域を愛する熱い想いを表現しました。
B-147	アユやツルとの共生へ守り育てる那賀川流域	アユやツルなど那賀川流域にすむ多様な生き物たちとの共生を目指して地域一体となって流域の豊かな自然を守り、育てていく。 作品は流域の自然を守り、育てながらアユがのぼり、ツルが舞いおける流域の魅力や価値を高めて持続可能な地域の活性化を図っていく、そんな世代を超えた多くの人達の共生に寄せる流域地域への熱い想いを表現しました。
B-148	アユ・ツルとの共生へ守り育てる那賀川流域	アユやツルなど那賀川流域にすむ多様な生き物たちとの共生を目指して地域一体となって流域の豊かな自然を守り、育てていく。 作品は流域の自然を守り、育てながらアユがのぼり、ツルが舞いおける流域の魅力や価値を高めて未来へと持続可能な地域の活性化を図っていく、そんな世代を超えた多くの人達の共生に寄せる熱い流域への想いを表現しました。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-149	人・アユ・ツル共生する未来へ那賀川流域	アユやツルなど那賀川にすむ多様な生き物たちが将来にわたってすみ続けることができるように流域 の豊かな自然環境を地域一丸となって守り、育てていく。作品は流域地域の豊かな自然を守り、育てな がらアユがのぼり、ツルが舞いおる流域地域の多種多彩な魅力を創出し、価値を高めて活性化を図ってい く、そんな世代を超えた多くの人達的那賀川流域地域に寄せる熱い想いを表現しました。
B-150	アユ・ツルと共生する未来へ那賀川流域	アユやツルなど那賀川流域にすむ多様な生き物たちとの共生を目指して地域が一体となって流域の豊か な自然を守り、育てていく。 作品は流域地域の自然を守り、育てながらアユがのぼり、ツルが舞いおる流域の魅力の創出や価値を高 め活性化を図っていく、そんな世代を超えた多くの人達の共生に寄せる流域地域への熱い想いを表現し ました。
B-151	アユ・ツルと那賀川流域を活性化	アユやツルなど那賀川にすむ多様な生き物たちが将来にわたってすみ続けることができるように流域 の豊かな自然環境を地域一丸となって守り、育てていく。 作品は流域地域の豊かな自然を守り、育てな がらアユがのぼり、ツルが舞いおる流域地域の多種多彩 な魅力を創出し、価値を高めて活性化を図っていく、そんな世代を超えた多くの人達的那賀川流域地域に 寄せる熱い想いを表現しました。
B-152	那賀川をみんなで未来へバージョンアップ	(空欄)
B-153	那賀川でネイチャーフィールドワーキングを	自分の近くにも同じような場所があるので大切にしたいという想いでつくりました。
B-154	エコロジー気軽に楽しむ那賀川に	自分の近くにも同じような場所があるので大切にしたいという想いでつくりました。
B-155	那賀川の自然、楽しく守るワーキング	自分の近くにも同じような場所があるので大切にしたいという想いでつくりました。
B-156	わかってきたから、今 できることがある。	これまでも、地域によっては持続可能な地域開発は謳われてきた。 様々な時代経過の後、情報を精査し「いきものと、みんなの〈我が家〉を今、丁寧に」という想い。
B-157	かけがえのない豊かな水と緑の宝庫	那賀川の自然を強調しました。
B-158	いのち育む水と緑のユートピア	那賀川の自然を強調しました。
B-159	四季折々が心と身体リフレッシュ	那賀川の自然を強調しました。
B-160	守り育てること。自然の未来にできること。	今の私達が出来る事をひとり一人が未来の為に日々積み重ねて行こう、というイメージです。
B-161	川・街が織りなす 夢・未来	那賀川流域の自然を守り育てて、夢あふれる未来へのバトンを渡していくイメージを表現しました。
B-162	この川の豊かな自然未来へと守り育てる地域の輪	(空欄)
B-163	那賀川で 育む自然と 地域力	那賀川流域で自然を育む取り組みは 流域の地域の活性化にもつながるイメージ。
B-164	那賀川の人と自然と美の調和	那賀川流域に住む人たちと自然の中の動植物、自然からの恩恵、上流から下流にかけての景観の美しさ や水の美しさは、共生の中の調和(ハーモニー)から生まれる。
B-165	清流に集う人、自然、美しきふる里	きれいな水の流れ、きれいな川の景観には、人や動植物も栄え寄り添い、調和を保ちつつ美しい共生のた めのふる里を創り上げていく。
B-166	清流にある豊かな癒しあなたにも	清き流れには、自然を愛する人たちや川とともに生きている動植物、鳥などが集まって来る。季節ごとの 川の表情や、鳥の鳴き声、四季折々の植物が、訪れる人に豊かな癒しを与えてくれる。
B-167	那賀川いきものがたりプロジェクト	(空欄)
B-168	交響曲「四季」が流れる那賀川 自然育てる	何よりも那賀川の豊かな四季をアピールしたい。それは「交響曲四季」が持つ四季の表現の世界であ る。知名度の高い「交響曲四季」の訴求力の強さを活かす。
B-169	繋がる 学ぶ 活かす 育てる 那珂川愛	那賀川の持つ自然の恵みの多様性。その那賀川との関わりをどう持っていくか。その具体的な関わりの方 法を、羅列しました。それらはすべて、那賀川への愛になります。
B-170	ありがとう那賀川 豊かな自然 守り育てる	那賀川の豊かな自然。それへの感謝の心。それは那賀川を自然な気持ちで守り育てたいという動機づけ に繋がって行く。
B-171	那賀川と共に生きる喜び 学び育てる自然愛	那賀川の豊かな自然。それへの感謝の心。それは那賀川を自然な気持ちで守り育てたいという動機づけ に繋がって行く。
B-172	命をつなぐ。恵みをめぐらす。那賀川流域。	「命をつなぐ」は、コウノトリやナベヅル、アユなど多様な生きものが暮らし続けられる自然を守り、生態系 のつながりを育む思いを表現しました。 「恵みをめぐらす」には、那賀川の豊かな自然を農林？産業や観光、学びなどに活かし、その価値を地域全 体へ広げる願いを込めています。命と恵みが未来へ循環する、豊かな那賀川流域を目指す言葉です。
B-173	清流が育む命、地域が紡ぐ未来。	那賀川の清らかな流れが育む多様な生きものと豊かな自然を「命」として表現しました。そして、その自然 を守り活かすことが、人々の暮らしや産業、観光、学びなど地域の新たな価値を生み、未来へつながってい く姿を「地域が紡ぐ未来」に込めています。 自然と人が共に歩み、次世代へ豊かな那賀川を受け継ぐ願いを表しました。
B-174	守り育てる自然、輝かせる地域。	那賀川流域に息づく多様な生きものと豊かな自然を大切に守り、育てていく姿勢を「守り育てる自然」と 表しました。また、その自然の恵みを農林水産業や観光、環境学習などに活かし、地域の魅力や価値をさら に高める思いを「輝かせる地域」に込めています。 自然と地域が互いに支え合い、ともに輝く未来を表現した言葉です。
B-175	生きものと自然が躍る、輝く那賀川の未来へ。	コウノトリやナベヅル、アユをはじめとする多様な生きものが、豊かな自然の中で生き生きと暮らす姿を「 躍る」という言葉で表現しました。自然を守り育てるだけでなく、その恵みを地域の産業や観光、学びなど に活かすことで、人と自然が共に輝く未来を目指す思いを込めています。那賀川の豊かな生命力を未来 へつなぐ言葉です。
B-176	ツルが舞い セッカは歌い 鮎躍る 皆の夢咲く 那賀川の里	(空欄)
B-177	なかよう育む、かわいい未来。	「なかよう」は阿波弁で「仲良く」という意味です。また、「なか」には『那賀』という響きも重ね、多様な主体 が協力しながら、那賀川流域をより良い地域に育んでいく願いを込めました。 「かわいい未来」には「愛おしく大切にしたい未来」と「川の良い未来」という2つの意味を込めています。
B-178	鮎も鰯も鍋鵜も。那賀川の仲間といつまでも	「アユもカジカもナベヅルも、私たちと共に那賀川の恩恵を受けて生きる仲間です。人や生きもの全てが この恵まれた暮らしをずっと続けられることを願います」という趣旨の言外に、それには人々が自然を守 り育み持続可能な生態系を維持することが必要であり、そうすることで那賀川流域の自然と共に、活動に 取り組む人々の魅力も高めることになることを訴求しました。
B-179	遡上する 魚の讃歌 水質に	川と人が共存共栄できることを願いながら作りました。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-180	つながる命が 見えてくる流域へ	(空欄)
B-181	生きる 那賀川と	那賀川と生きていくためには、自然を守るだけでなく、その恵みや力を最大限に活かし、流域の暮らしや産業へつなげていくことも大切だと考え、その決意を込めました。 「生きる 那賀川と」は、「 那賀川と生きる」と読める一方で、「”生きる那賀川”と」とも読むことができます。那賀川そのものが生きている存在であること、そして私たちがその那賀川とどう向き合い、共に生きていくのかを問いかける言葉です。
B-182	那賀川に息づく、豊かな生命	那賀川を中心に、鳥・魚・水辺の生きもの・植物と一緒に暮らし、その豊かな自然を未来につないでいく
B-183	那賀川を 治め頂く 自然の恵み	(空欄)
B-184	那賀川の 手綱を引いて 頂くめぐみ	(空欄)
B-185	那珂川は生き物みんな仲が○	(空欄)
B-186	那賀川はなぜ、那賀川になぜ、那賀川をなぜ	那賀川の自然へ人々の視線を集め、関心を寄せてもらえるよう、あえて中身を隠し、問いかけるものにしました。
B-187	阿波の心に、那賀川の心。	ことわざ「魚心あれば水心」をもとに、人と自然の温かい相互関係を表現しました。 「阿波の心(人々の愛着と思いやり)」を持って接すれば、那賀川も「那賀川の心(豊かな恵みと蘇る生き物)」で応えてくれる——そんな人と自然が相思相愛で育む未来の循環を表しています。
B-188	那賀川の命を未来へ。絶やさず、つなぐ。	生きものたちの命や清流の美しさを「絶やさず、ここで終わらせない」という力強い意思を表現しました。シンプルで覚えやすく ストレートにしました。
B-189	那賀川から未来へ。命めぐる清流のバトン	現在の豊かな自然と暮らしを「バトン」に例え、次の世代へと受け渡していくという意味です。
B-190	鳥も魚も人も。那賀川の未来を紡ぐ流域へ	コウノトリやアユと、私たち人間・産業が手を取り合い、那賀川の未来と一緒に「紡いでいく作り上げていく」イメージです。
B-191	川の恵みが地域の力に。命と暮らす那賀川	自然の恵みが産業や地域を支える力になることを表し、生きものの命と私たちの暮らしが一緒に息づいている様子をまとめました。
B-192	命めぐり、暮らしが響き合う那賀川流域	生きものたちの命が巡る自然と、人間の暮らしや産業が共鳴している美しい関係性を表しました。
B-193	みたことあるかな？こんな自然	美しい那賀川を守ることがとても大事なことだということが伝わるようキャッチコピーを考えました。
B-194	なか川とくらす生き物豊かさいつまでも	なか川に生き物がいつまでもくらせるように
B-195	那賀川の自然愛するひとが好き	(空欄)
B-196	那賀川で出会えるアユやコウノトリ	自然の純な豊かさをイメージ。
B-197	イメージカラーは多種多鳥の色とりどり	多様なとりたちをイメージして、色のあざやかさ、川のみりょくをイメージしたキャッチコピーをつくりました。
B-198	人々のやさしさがはぐくむ 豊かな自然	那賀川流域の豊かな自然を守っていくために欠かせないものは、人々のやさしい思いやりの心なのではという思いを、キャチコピーにしてみました。
B-199	たくさんの命が生き、命を生む素敵な場所	本当に那賀川流域は、拙作に記した通りの素晴らしい場所であるから、永遠に存続する事を願って
B-200	共に生きたい貴重な命いっぱい！見においで	那賀川流域の貴重な自然、生物を皆で見守り、親しみたいという想いから
B-201	手をかけないで 手をかける	(空欄)
B-202	山・里・川・海、ひとつのいのち。那賀川流域ネットワーク。	(空欄)
B-203	那賀川を守る 那賀川と生きる	(空欄)
B-204	棲んでいる みんなを守る 那賀川活き活き	那賀川には空にも川にも生き物達が棲んでいる。それらの生活場所の保全を進め自然環境を守ることが大切である。そのことが同じ場所に住む人間の生活向上に寄与し観光や産業基盤として価値の向上に繋がる。
B-205	この川は、なかなかの自然がいっぱいだ	那賀川の「なか」を掛けて「なかなかの自然」(予想したより 素晴らしい自然)をキーワードに作成しました。
B-206	この川は、なかなかの自然があふれてる	那賀川の「なか」を掛けて「なかなかの自然」(予想したより 素晴らしい自然)をキーワードに作成しました。
B-207	また釣りたい。魚が育つ川を守ろう。	楽しかった釣りの一日が、川を大切にするきっかけになってほしい。 次も魚に会いたいと思うなら、その魚が育つ場所も守りたい。川で遊ぶ人の素直な気持ちから、できることを始めようと呼びかけました。
B-208	鳥の目で考える、境のない地域づくり。	鳥にとって、市町の境はすみかの境ではありません。少しだけ鳥の目になれば、自分のまちの外にも大切な場所が見えてくるはず。那賀川でつながる地域が、力を合わせるきっかけになる言葉を目指しました。
B-209	川の恵みは、残しながらいただく。	おいしい魚も、川で過ごす時間も、これから先まで楽しみたい。そのために、今ある恵みをいただくときには、次の命が育つ分も残しておく。そんな心配りを、流域の暮らしの当たり前前にできたらと思います。
B-210	図鑑の魚が、ふるさとで育つ明日へ。	図鑑を開いて知った魚に、ふるさととの川で出会える。子どもたちに、そんな喜びを残したいと思いました。魚が育つ場所を守るとは、驚きや好奇心が育つ場所を守ることでもあると考えています。
B-211	鳥の通り道も、まちの地図に描こう。	まちの地図に、鳥が食事をする田んぼや、休みに来る水辺も描いてみたい。人の道ばかり見ていると気づかない、大切なつながりがあるはず。そのつながりを途切れさせないまちづくりを願いました。
B-212	鳥が休める静けさも、まちのもてなし。	鳥に来てほしいなら、安心して羽を休められる場所も大切にしたい。にぎわいをつくるだけでなく、そっと見守ることも、もてなしだと思います。人も鳥も落ち着いて過ごせる水辺を願いました。
B-213	守った水辺を、はじめて会う人と歩く。	水辺を守る人が、訪れた人を案内する。「いい場所ですね」と言ってもらえたら、きっと励みになると思います。自然を大切にすることが、一緒に歩く時間を通して伝わる。そんな出会いを思い描きました。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-214	田んぼの実りに、鳥の帰りも数えよう。	秋に喜ぶ実りが、お米だけでなく、田んぼに戻ってくる鳥の姿にもあってほしい。農家の仕事が生きものの暮らしも支えていることを、地域みんなの誇りにできたら。そんな願いを込めました。
B-215	アユのすみかは、まちの学び舎。	アユがどこで育ち、何を食べているのか。川をのぞくと、知りたいことが次々に生まれます。子どもも大人も夢中になって学べる川を残したい。そのためにも、アユのすみかを大切にしたいと思いました。
B-216	森の手入れを、まちの学びの時間に。	森の手入れを、詳しい人だけの仕事で終わらせたくありません。一緒に手を動かし、教わる時間があれば、森はもっと身近になるはずです。森を育てる仲間が、まちの中に少しずつ増えていくことを願っています。
B-217	生きものが育つ田を、食卓から支える。	毎日のお米を選ぶとき、その田んぼで暮らす生きものにも思いを向けたい。自然に気を配って作られたものを食べることが、作り手を応援する力になる。食卓からなら、自分にもできることがあると思います。
B-218	那賀川に、鳥と魚と人の長いおつきあい。	鳥も魚も人も、那賀川で暮らす仲間として、これからも長く付き合っていけたら。難しい言葉より、そんな親しみのある願いを伝えたいと思いました。何世代先にも、この川での暮らしが続いてほしいです。
B-219	すみかをつなぎ、生業をつなぐ。	森や田んぼ、川がつながって、生きものは暮らしています。その自然とともに続いてきた仕事も、大切に受け継いでいきたい。生きもののすみかを守ることが、人の生業を支える力にもなる流域を願いました。
B-220	川上の手入れを、川下の豊かさへ。	上流で森や川に手をかける人の仕事を、下流で暮らす人にも知ってほしい。川がつないでいるのは水だけでなく、誰かの手間や気配りでもあると思います。川上と川下で支え合う地域になってほしいと考えました。
B-221	森も田も水辺も、暮らしの土台に。	毎日の食べものも、使う水も、森や田んぼや川につながっています。自然を守ることは、暮らしの土台を守ること。その身近なつながりを、改めて大切にしたいです。
B-222	人にも魚にも住みよい、那賀川流域へ。	住みよいまちを考えると、魚の居場所にも目を向けたい。人が便利に暮らせても、魚がすめなくなる川では寂しいと思います。人の暮らしと生きものの暮らし、両方を大切にする那賀川流域を願った言葉です。
B-223	生きもののすみかも、産地の価値に。	おいしさと一緒に、「こんな生きものも暮らす場所で育ちました」と伝えられる産地であってほしい。自然を大切にする作り手の仕事まで届けば、食べる人の愛着も深まるはず。すみかを守る努力が、産地の誇りになることを願います。
B-224	自然を守る技を、まちの強みに。	森の手入れや、生きもののすみかづくりには、現場で培われた技があります。自然とともに、その技も地域に残したい。次の人へ受け継がれ、まちの強みになってほしいと思いました。
B-225	川を守る仲間は、まちをつくる仲間。	川を守るために一緒に汗をかけた人とは、まちのことも話してみたくなるのではないのでしょうか。川でできたつながりが、地域の新しい力になっていく。そんな仲間の輪が広がることを願って書きました。
B-226	森と田の知恵を、川の未来へ持ち寄る。	森のことは森を育てる人に、田んぼのことは田を耕す人に教わりたい。それぞれの現場の知恵を持ち寄れば、川のためにできることも増えてくるはずです。立場の違う人が、同じ川の未来を話せる場を願いました。
B-227	自然の再生から、地域の新しい仕事を。	自然を取り戻すことが、地域の新しい仕事にもつながってほしい。自然を案内したり、土地の恵みでものを作ったり。生きもののすみかを育てながら、人が挑戦できる場も広げていきたいです。
B-228	生きものも、働く人も、根づく流域へ。	生きものが安心してすめて、人もここで仕事をしながら暮らしていける。那賀川流域が、そんな場所であり続けてほしいと思いました。自然を大切にすることと、地域で生きていくことを、一緒に考えたいという願いです。
B-229	守りたい川が、帰りたいまちにある。	離れて暮らす人が「帰ったら、あの川を見に行こう」と思える。そんな川があるまちは、幸せだと思います。自然を守ることが、人とふるさとのつながりを守ることにもなっていてほしいです。
B-230	魚と遊ぶふるさとを、次の子にも。	魚を見つけて夢中になる時間を、いまの子どもたちだけのものにしたくありません。次に生まれてくる子にも、その次の子にも、川で遊ぶ楽しさを知ってほしい。そのために今、魚のいる川を守りたいという思いです。
B-231	収穫のあとも、命を育てる田んぼへ。	稲刈りが終わった田んぼにも、鳥が訪れ、生きものの暮らしが続いてほしい。お米を育てる場所が、一年を通して命を支える場所にもなる。そのための工夫を、農家だけに任せず地域で支えていけたらと思います。
B-232	森を育てて、まちの手仕事をつなぐ。	木を育てる人と、その木でものを作る人。両方の手が、この先も地域に残ってほしいと思いました。森を大切に使い、また育てることで、自然の恵みと、まちの手仕事を次の世代へ渡していきたいです。
B-233	遊べる川に、魚だけの場所も。	川で遊ぶ楽しさを残すために、魚が落ち着いて暮らせる場所も残したい。人が使える場所を広げるだけでなく、魚に譲る場所も考える。川を楽しむ私たちにできる、大切な選択だと思います。
B-234	離れていても、ふるさとの川を育てる。	ふるさとを離れていても、川のためにできることはあるはずです。土地の産品を選んだり、帰省の折に活動に加わったり。住む場所にかかわらず、那賀川を大切に思う人が関わり続けられる地域であってほしいと願います。
B-235	川を守る約束を、まちの名刺に。	「このまちは、川を大切にしています」と、胸を張って人に紹介できたら。その言葉を、日々の行動で確かにしていきたいと思いました。川を守る約束そのものが、那賀川流域を知ってもらうきっかけになることを願います。
B-236	川を育てる仕事に、若い手を。	川や生きものに関わる仕事を、若い人にも「やってみたい」と思ってほしい。地域で培ってきた知恵を渡しながら、新しい工夫も歓迎したいと思います。川の未来を担う人が、この流域で育つことを願った言葉です。
B-237	守り、活かす。那賀川の恵みを、明日へ。	那賀川流域の自然を大切に守りながら、その恵みを暮らしの中で活かしていく気持ちを込めました。
B-238	キラキラの水面を見つめワクワク那賀川流域	(空欄)
B-239	那賀川の自然や生き物を守りましょう	(空欄)
B-240	見て聞いて知って守ろう那賀川の自然生き物	(空欄)

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-241	キラキラの水面にワクワク那賀川流域	(空欄)
B-242	キラキラの水面にワクワクドキドキさあ川へ	(空欄)
B-243	「きれいだね」誰もが言える川目指す	(空欄)
B-244	汚さない 自然と生き物守りましょう	(空欄)
B-245	ミャクミャクと続くキラキラ那賀川流域	(空欄)
B-246	くねくねは魚たちの自然のサーキットだよ	那賀川はくねくねしているので、サーキットみたいだと感じ、これにしました。
B-247	水キララ 生きもの活き活き 永く那賀川	流れる水は澄明でキラキラ輝き、流域の生物は活き活きと活動する那賀川よ永くあれ。私達の生活に無くてはならないこの川よいつまでも。顔を踏みながら擬音を使って印象に残るようにしました。
B-248	清流がつなぐ、命と未来の那須川流域	(空欄)
B-249	いろとりどりのなか川を 育みながら楽しもう！！	気候変動 人口減少の中、子供たちの一番身近にある豊かな自然を守ることが最も幸せで豊かな未来への近道だと思いこの活動に賛同しました。 那賀川流域に広がる色とりどりの自然とたくさんの鳥たちを重ねました。鳥や魚たちと美味しいお米を作る豊かさを楽しく未来へ繋げて欲しいです。
B-250	自然がなかまがわっくわく	豊かな自然や生物がたくさんでわっくわくする場所であることを、「な・か・が・わ」という文字と響きが印象に残るように表現しました。
B-251	那賀川の 自然に触れる喜び 知る喜び	子どもたちにとって、自然に触れることは喜びである。又、その喜かさをすることも喜びである。
B-252	那賀川の 自然の豊かさ 多様性	那賀川の自然に触れることで、その豊かさと同様な生き物たちの生態に触れてほしい。
B-253	那賀川の 自然に 触れて遊んで知り学ぶ	那賀川の豊かな自然に、子どもたちが、遊びを通して触れることで、自然の大切さを学んでほしい。
B-254	輝やく那賀川守り育くみ輝やく未来	那賀川の多様な生態系を守り、自然を活かした暮らしの魅力を未来につなぎ育む
B-255	那賀川の自然守り育くみつなぐ明日	那賀川の多様な生態系を守り、自然を活かした暮らしの魅力を未来につなぎ育む
B-256	那賀川を暮らしに活かしつつなぐ未来	那賀川の多様な生態系を守り、自然を活かした暮らしの魅力を未来につなぎ育む
B-257	那賀川を守り育くみつなぐ豊かな未来	那賀川の多様な生態系を守り、自然を活かした暮らしの魅力を未来につなぎ育む
B-258	素敵だな 那賀川の自然守りとときめく明日	那賀川の多様な生態系を守り、自然を活かした暮らしの魅力を未来につなぎ育む
B-259	那賀川と暮らしを守り育くむ明るい地域	那賀川の多様な生態系を守り、自然を活かした暮らしの魅力を未来につなぎ育む
B-260	那賀川の生態系守り育くみ輝やく明日	那賀川の多様な生態系を守り、自然を活かした暮らしの魅力を未来につなぎ育む
B-261	那賀川の自然守り活かし輝やく流域 夢 未来	自然豊かな那賀川の自然を守り育み、流域社会に発展をもたらす未来が来ることをイメージした。
B-262	那賀川の豊かな自然守って活かす産業復興 輝やく	那賀川の自然を守り、治水産業等に活かすことで輝く流域になること
B-263	那賀川流域 夢 未来	那賀川の自然を守り、治水産業等に活かすことで輝く流域になること
B-264	未来へつなげよう 那賀川流域 自然と生物	那賀川流域の美しい自然と共に生きる生物を未来へつなぐことにより豊かな那賀川流域に発展していくことを表しています。
B-265	那賀川の前風景をそのまま未来へ繋ごう！	那賀川の郷愁感のある前風景をそのまま(不易で)で残していきたいという思いを込めました。
B-266	自然から那賀川へ 水陸空からの贈り物	(空欄)
B-267	ずっと豊かに、もっと豊かに	将来にわたって自然を守ることをイメージして
B-268	豊かな自然守り、育てて未来につなぐ	将来にわたって自然を守ることをイメージして
B-269	那賀川を豊かなままバトンパス	将来にわたって自然を守ることをイメージして
B-270	那賀川の自然が育む多くの命のつながりを表現しました	那賀川の自然が育む多くの命のつながりを表現しました
B-271	森から海まで、いきものの「みち」。	「森から海まで」で、森林、里、農地、河川、水辺、海など、多様な環境がつながる那賀川流域の広がりを表し、「川」を、生き物たちが行き交い、暮らす「道」に例えました。勿論、人もまた、生き物の一員として位置づけています。 次に、「みち」と平仮名にしたのは「道」という意味だけでなく、「満ち」「充ち」「路」「途」「未知」など、様々な意味や響きを重ねることで、那賀川流域の豊かな自然やその恵みについて考えるきっかけになればという思いを込めました。 さらに、自然を守り、活かし、地域の魅力や価値につなげていくワーキングの重要性も、この「みち」に込めています。
B-272	地域の知恵と和で守ろう清流那賀川未来まで	那賀川流域の豊かな自然を守る
B-273	子々孫々世代を越えた河川愛で守ろう那賀川	那賀川流域の豊かな自然を守る
B-274	澄む、棲む、住む	「水が澄む、生きものが棲む、人が住む。」那賀川流域の姿を、3つの同音異義語に込めました。
B-275	みんな那賀がいいね。	(空欄)
B-276	コウノトリのように命を運び、那賀川。	赤ちゃんを運ぶといわれるコウノトリのように、那賀川も多くの命を運び、育む存在だと考えました。
B-277	那賀川の息吹、生き生きと。	まるで呼吸しているかのような、生命力に満ちた那賀川の豊かな生態系を表現しました。
B-278	那賀よく、阿波せて、徳島しょう。	(空欄)
B-279	ミャクミャクと広がる自然は那賀川と生きる	(空欄)
B-280	鳥、魚、人、那賀川の自然に包まれて	(空欄)
B-281	自然の声に寄り添う流域へ	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住処となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
 ※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
 ※無断での転用・転載はご遠慮ください。

[illegible]

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-293	自然と人が手を結ぶ那賀川からのメッセージ	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-294	育もう！人と生きものの輪 那賀川流域から	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-295	自然の恵みを守り、地域の未来を創る	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-296	流域まるごと、いのちのネットワーク	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-297	生態系のつながりが、ひらく地域の可能性	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-298	自然を守り、地域を元気にする那賀川流域へ	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-299	つながる生態系、広がる地域の未来	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-300	流域の自然とともに、持続可能な未来へ	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-301	那賀川流域、人・川・生き物のハーモニー	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-302	つなごう！ 那賀川の恵みを、次の世代へ	徳島県南部を流れる那賀川の流域では、生物の住处となる自然環境を保全・再生するとともに、自然環境を活かした地域活性化を目的とする「生態系ネットワーク」の形成に向けて、流域の様々な団体の参加のもと、「那賀川流域地域ワーキング」の取り組みが進められておられます。貴事務局様が、このプロジェクトを地域を始め、全国に広く周知・共有されることを目指されて、自然と人が寄り添い、那賀川流域の豊かな自然を次世代へ引き継ぐため、生態系のつながりを守りながら、地域の活力向上を図る取り組みであることに共鳴し、流域全体で協力しながら未来を育てていく、本取り組みの大切さを、わかりやすく、親しみやすく、表現いたしました。
B-303	那賀川を 見つめて触れて 見守って	那賀川を愛して生きていく
B-304	ともに暮らし ともに生きて 友達に	那賀川ファン増やせ
B-305	生きる森 生きる川 生きる循環する自然	環境を守り自然豊かな世界が豊かな未来につながる。
B-306	自然いいね！恵みはぐくみ いつくしみ	自然の素晴らしさと偉大さ、ありがたさをイメージするように考えました
B-307	おいで みんな 那賀川	人に限らず、たくさんの生物が集まり、共存出来る場所になれば良いという想いを込めました。
B-308	いのち巡る、恵みつながる那賀川	山から海へ水と命が巡り、その恵みが地域の暮らしや産業へつながる那賀川流域の姿を、短く一続きの言葉で表しました。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-309	守る自然が、流域の未来を育てる	自然を守ることが、治水・産業・学び・観光を含む流域の未来そのものを育てる、という取組方針を一文にまとめました。
B-310	生きものと人が輝く、那賀川流域	生きものの保全と人の暮らしの発展を対立させず、共に輝く流域を目指す姿勢を表しました。
B-311	めぐる命、川のめぐみを必ず守る	那賀川(自然)を守ることで、様々な生き物の命の未来が繋がっていく様子を表現しました。めぐるとめぐみで韻も踏んでいます。
B-312	恵みを守る、使命がある	那賀川(自然)を守ることで、様々な生き物の命の未来が繋がっていく様子、那賀川を守る、那賀川流域地域ワーキングの皆様を表現するにふさわしいキャッチフレーズを目指し作成しました。
B-313	川が育ち、人が育つ	美しい那賀川を守ることがとても大事なことだということが伝わるようキャッチコピーを考えました。
B-314	水といっしょに生きものも流れ込む川です。	生きものがたくさんいる川であることを表現した。
B-315	アユもツルも、人も。 那賀川と生きていく。	那賀川には、アユがのぼる川、ツルが舞う水辺、そしてその自然とともに暮らす人々の営みがあります。「アユもツルも、人も。」には、生きものだけを守るのではなく、人の暮らしも含めて流域全体が豊かであってほしいという思いを込めました。「那賀川と生きていく。」は、自然を一方的に利用するのでも、遠くから守るのでもなく、その恵みを受け取りながら、ともに未来へ暮らししていく姿を表しています。
B-316	那賀川の自然を守るワンチーム	(空欄)
B-317	那賀川知りたい自然から守りたい自然に	(空欄)
B-318	那賀川は持続可能な豊かな自然	(空欄)
B-319	『いのち巡る、恵みつながる、那賀川』	那賀川流域の豊かな自然と地域の魅力、そして未来へつながる姿をイメージし、作品を制作いたしました。
B-320	守り、育て、高める 那賀川流域	那賀川流域地域ワーキングの取組が『那賀川にすむ多様な生きものたちが将来にわたってすみ続けることができるように、流域の自然を本来あるべき状態で守り育てる』とあるので、『守り』『育て』を選びました。さらにその取り組みを高めていく、と言うことで『高める』も用いました。そしてそのワーキングの場所である『那賀川流域』を入れその主体を明確にしました。
B-321	アユもブレーキンする美しい那賀川	美しい川で泳ぐアユが踊るほどアクティブ 積極的にここ流域から自然が生まれ潤す。地域に守られ育まれ地域と人、人と自然が一体となり調和を保つ事ができ又、次代への生命線となりうる。そんな川と自然と町と人とが結びつく地域交流を未来へつないでいきたい。
B-322	那賀川が伝える持続可能なアクティブ	美しい川で泳ぐアユが踊るほどアクティブ 積極的にここ流域から自然が生まれ潤す。地域に守られ育まれ地域と人、人と自然が一体となり調和を保つ事ができ又、次代への生命線となりうる。そんな川と自然と町と人とが結びつく地域交流を未来へつないでいきたい。
B-323	那賀川は次代へつなぐ生命線	美しい川で泳ぐアユが踊るほどアクティブ 積極的にここ流域から自然が生まれ潤す。地域に守られ育まれ地域と人、人と自然が一体となり調和を保つ事ができ又、次代への生命線となりうる。そんな川と自然と町と人とが結びつく地域交流を未来へつないでいきたい。
B-324	水清き、ひとも未来も自然も豊か	美しい川で泳ぐアユが踊るほどアクティブ 積極的にここ流域から自然が生まれ潤す。地域に守られ育まれ地域と人、人と自然が一体となり調和を保つ事ができ又、次代への生命線となりうる。そんな川と自然と町と人とが結びつく地域交流を未来へつないでいきたい。
B-325	那賀川は地域に根ざす輪と和のハーモニー	美しい川で泳ぐアユが踊るほどアクティブ 積極的にここ流域から自然が生まれ潤す。地域に守られ育まれ地域と人、人と自然が一体となり調和を保つ事ができ又、次代への生命線となりうる。そんな川と自然と町と人とが結びつく地域交流を未来へつないでいきたい。
B-326	大自然 はぐくむ那賀川 大好きじゃ	豊かな森林資源をはぐくみ、澄んだ水面に木漏れ日キラメク那賀川の姿を方言を交えて表現
B-327	永久の輝き 癒しの那賀川（とわのかがやき いやしのなかがわ）	未来永劫輝き続け、訪れる人々の心をいやしてくれる、那賀川の姿を表現。
B-328	自然美を 水面に映す 那賀川ブルー	鏡のように澄んだ那賀川の水面に、自然美が映える姿を表現。
B-329	自然豊かな恵みの川、山紫水明那賀川の川	自然豊かな那賀川を象徴する四文字熟語で表現
B-330	清流がつなぐ、地域の未来	那賀川・人・地域・未来というコンセプトを自然に表現した。
B-331	アユ跳ね鳥舞い人咲く那賀川の恵みを未来へ	那賀川の清流に躍動するアユや、空を舞うコウノトリ・ナベヅルといった豊かな自然を守り育てる姿を「アユ跳ね鳥舞い」で表現しました。そして、その自然の恵みを活かすことで、暮らしや産業が潤い、人々が生き生きと笑顔で輝く地域の活性化を「人咲く」という言葉に込めています。自然を守り育てながら、その恵みを地域の魅力や価値につなげ、次世代へ受け継いでいきたいという思いを込めました。
B-332	守るだけじゃない。那賀川で魅せる新時代	「保護(守る)」から「活用と発信(魅せる)」へのシフトを明確に宣言したコピーです。「新時代」というワードで、これまでの取組を一步進める期待感と先進性を演出しています。
B-333	那賀川の生態系は、地域づくりのエンジン	自然環境を単なる風景ではなく、地域全体を駆動させる「動力源(エンジン)」として再定義しました。環境保全がそのまま産業や観光、教育などの発展につながる仕組みを力強く表現しています。
B-334	流域の豊かな自然を、この街一番の武器にする	環境保全を地域競争力の核へと昇華させる戦略的な切り口です。「武器」というインパクトあるワードを使うことで、自然を保護対象から地域の誇れる強みへと意識転換させます。
B-335	命と暮らしがシンクロする、新・那賀川スタイル	コウノトリやアユなどの「生きものの命」と、住民の「日々の暮らし・産業」が調和して好循環を生む様子を描きました。「新スタイル」と呼ぶことで、新しい生活価値観や文化の創出を印象付けます。
B-336	自然のチカラで那賀川をリ・デザイン	「グリーンインフラ」や「自然を活かした治水・振興」という先進的な取り組みの価値を、新しく価値を再構築するイメージで表現しました。
B-337	那賀川の「本気」が、未来を叫ぶ	生きものの多様性と産業振興をどちらも妥協しない流域の強い意志を、叫ぶというフレーズでエネルギーギッシュかつ熱量高く表現しました。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-338	未来のコウノトリに、選ばれる川へ	「保護する」という人間側の押し付けではなく、「鳥から選ばれるほどの豊かな自然環境をつくる」という逆転の発想を取り入れました。 高い環境基準をクリアする姿勢を示しつつ、その豊かな自然が巡り巡って人々の暮らしや地域価値の向上につながるというメッセージを込めています。
B-339	川を守り、街を輝かす。 那賀川ネクスト・シフト	前半で「自然を守る活動が街の価値(産業・観光・防災)を高める」というコンセプトの核をシンプルに提示。「ネクスト・シフト」という横文字のフレーズを使うことで、従来の保全活動から一歩進んだ、流域一体の先進的な取り組みであることを力強くアピールしています。
B-340	流域まるごとグリーン資産！那賀川ブランド再始動	「資産」や「ブランド」といったビジネス的・前向きなワードを配置することで、行政や地域住民だけでなく、産業界や観光客にも響く斬新な切り口に仕上げました。那賀川流域の魅力を再発見し、地域ブランドとして世界や未来へ発信していく覚悟を象徴しています。
B-341	水の恵みを解放せよ。那賀川・価値倍増計画	従来の「保護・保全」という静的なイメージを覆し、自然の力を地域発展のエネルギーとして解き放つ動的な姿勢を表現しました。 「価値倍増」という明確で強い言葉を使うことで、産業振興や治水、環境学習を通じた流域全体の魅力向上というコンセプトを力強くアピールします。
B-342	守るだけじゃない。那賀川で遊べ、学べ	一方通行になりがちな「環境保護」の文脈を破り、流域住民や訪問者がレクリエーションや環境学習を通じて自然と能動的に関わる未来を描きました。 呼びかけるような対話調のフレーズで、地域の主体的な参画や賑わいの創出を促します。
B-343	那賀川の「そのまま」が一番の資源だ	「本来あるべき自然の状態」を守ることが、実は農林水産業や観光において他にはない強力な競合優位性(資源)になるという視点の転換を狙いました。過剰な開発ではなく、ありのままの生態系こそが地域の価値を高める核であることをストレートに伝えます。
B-344	自然を呼び戻したら、街まで賑わった	コウノトリやアユが戻る豊かな生態系の再生が、結果として観光や産業の活性化、人々の集いにつながるという「風が吹けば桶屋が儲かる」的なストーリー性を落とし込みました。 結果を提示する叙述的な切り口で、親しみやすさと予兆を感じさせます。
B-345	守り、活かし、拓く！ 那賀川がつなぐ未来	「守り(自然保護)」「活かし(地域資源の活用)」「拓く(新たな価値・未来の創造)」と、3つの動作をテンポよく重ねることで、取組が未来に向かって力強く発展していくストーリー性を生み出しています。
B-346	守るから育つ、活かすから輝く、那賀川	「～から～」という構文をふたつ並べる「対句法」を採用しています。「守る≠育つ」「活かす≠輝く」という心地よい対比と繰り返しのリズムにより、一度聞いたら耳に残るキャッチーさを持たせました。
B-347	那賀川はワクワク詰め放題！	(空欄)
B-348	しぜんを ぜんしんで 那賀川	豊かな自然を全身で感じるができる那賀川をアピールできるよう考え作成しました。「自然」が印象に残るフレーズにしました。
B-349	あんじょう 那賀川の自然 あるでないで	徳島県の方言を使い作成しました。「あんじょう」はうまい具合。「あるでないで」は、あるじゃないかを表します。那賀川流域に来てほしい気持ちを表現しました。
B-350	自然たっぷり 那賀川に 行かんでか	キャッチコピー募集に「那賀川流域の豊かな自然を伝える」という一文があり、「那賀川の自然」を前面に押し出すのがいいと考え作成しました。徳島県の方言「行かんでか」は、行きませんかを表します。
B-351	ツルやコウノトリにも会える、命溢れる那賀川	希少な動物も含めて多種多様な生きものが那賀川周辺には生息していることを表現
B-352	那賀川の自然が潤す阿波の国	那賀川は自然が多く、徳島の町を潤している
B-353	命を紡ぎ、命を恵む 那賀川	「命を紡ぎ」には、那賀川流域に生息する生きものの命を守り、自然を未来へとつないでいくという思いを込めています。「命を恵む」には、那賀川の自然が、人々の暮らしや地域の営みを支えているという意味を込めています。 「命」という言葉を繰り返すことで、生きものの命と人の暮らしが那賀川を通してつながり、豊かな恵みが未来へと受け継がれていく姿を表現しました。
B-354	川がつなぐ。生命がめぐる。	那賀川を単なる「水の流れ」ではなく、魚や鳥、植物、人、地域をつなぐ生命のネットワークとして捉えています。「つなぐ」は流域に広がる生態系と人・地域の連携を、「めぐる」は水や生命の循環と、豊かな自然を未来へ受け継いでいく想いを表現しています。短く覚えやすく、ロゴマークの流線構造とも呼応する言葉にしました。
B-355	コウノトリパワースポットここ那賀川	特徴を表現しようと思いました。
B-356	コウノトリブッポウソウもここ那賀川	特徴を表現しようと思いました。
B-357	自然と生きる那賀川	豊かな自然を壊さぬ様に心に込めたコピーにしました。
B-358	自然・いきもの・人のあわいに 阿波の那賀川	自然といきものと人の間(あわい)にある那賀川。それらをつなぎ、大切に守り続けたい、という願いを込めました。また「あわい」と阿波が、語呂がいいことから、キャッチコピーにふわさしいと思いました。
B-359	水がつなぐ。みんなで守る豊かな那賀川の自然。	那賀川流域の自然を守り育て、自然を活かした暮らしや産業などを通じて、流域のさらなる魅力向上や活性化を目指すことを強調し、親しみやすさ、那賀川らしさを全面に出したキャッチコピーです。
B-360	那賀川の自然。清らかな流れと豊かな未来。	那賀川流域の「豊かな自然」・「清らかな水の流れ」・「豊かな未来へ」というメッセージを表現し、流域のさらなる魅力向上や活性化を目指すことを強調し親しみやすさ、那賀川らしさを前面に出したキャッチコピーです。
B-361	鮎が跳ね里山笑う、豊かな水と暮らす那珂川リハビリ	(空欄)
B-362	命溢れる清流が未来へ繋ぐ緑の源	(空欄)
B-363	生き物の永遠の楽園 ど真ん那賀川	鳥、魚等生態系や自然環境が豊かな那賀川は、人を含む生き物の楽園であり、その自然環境を永遠に残したいという思い。「ど真ん中」の「那賀川」えを懸け合わせた、「ど真ん那賀川」という造語で、那賀川を守ることこそが、自然保護の中心であることをアピールした。
B-364	未来に残そう、バイオダイバーシティ那賀川	生き物の多様性を未来に残したいというイメージです。
B-365	人と自然、つながる那賀川	綺麗な那賀川を人の手で、再び取り戻す想いを多くの人に。
B-366	那賀川の仲間と仲良く道半ば	那賀川に棲む生物や流域に暮らす住民、そして川を訪れるすべての生物・人間が「仲間」となって共生する道のりは始まったばかりである。

那賀川流域地域ワーキング キャッチコピー 応募作品一覧

※応募作品を順不同で掲載しています。
※個人が特定できる情報は除外し、応募作品と作成イメージのみ掲載しています。
※無断での転用・転載はご遠慮ください。

B-367	川面が映す 自然と暮らしの妙 シンクロの先へ	那賀川の水面に映る 季節の移ろいと調和した暮らしの美しさに響き合った気持ちをいっしょに感じ、さらなる豊かな自然をいっしょに創っていこう！というイメージでつくりました。
B-368	ツル舞う浅瀬にアユ躍り里山は未来を紡ぐ	ツルが舞う浅瀬とアユ躍る瀬に、那賀川ならではの自然の豊かさを記しました。生きものを守り育てながらその恵みを里山の暮らしや産業、地域の未来へつないでいく思いを表しています。
B-369	森から川までいのちめぐる那賀川の恵み	上流の森から川、水田、河口、海へと続く那賀川流域には、アユやナベヅル、コウノトリをはじめ、多様な生きものが暮らしています。それぞれの命と自然、人の暮らしが水によって結ばれ、豊かさが流域全体をめぐりながら未来へ受け継がれていく姿を「いのちめぐる」と表現しました。
B-370	鳥、魚、人間、みんなが喜ぶ那珂川へ	(空欄)